

Internship report 2023

インターンシップ
実施報告書 2023年度



● 目次

はじめに……………	1
インターンシップ受入企業・法人・官公庁……	2
インターンシップ事前研修会・成果報告会……	3
インターンシップ参加学生……………	4
受入実習先アンケート結果……………	6
学生アンケート結果……………	10
実習報告・感想……………	14
インターンシップご協力をお願い……………	28



はじめに

群馬大学は、第4期中期計画（令和4年度～令和9年度）において、産業界等の社会で求められる高度な専門の実践能力を備えた人材を養成するために、リカレント教育も志向した社会要請に応じた科目の充実に取り組んでいます。また、企業や自治体との連携による就業体験・インターンシップ等も含めた高度専門教育を行うこととしています。

加速度的に進行するグローバル社会では、企業等におけるオンザジョブトレーニングの実施は厳しさを増し、その分、大学での教育が重要になってきています。そのような社会でも活躍できる有為な人材として学部生・大学院生を育て、地域に還元していくためには、地域の産業界・自治体等の皆様の協力を得て、在学中からの職業意識の涵養、社会人として必要となる行動力等の養成が大切であると、本学は考えています。

第4期中期計画も今年で2年目を迎えましたが、この考え方は日に日に強くなっていきます。

このような中、本学では、令和5年度から始まった「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省の三省合意）の実施に向け、インターンシップ（同合意のタイプ3、タイプ4）をお引受けくださる企業様の探索に動きはじめました。この三省合意の実施には、企業様のご協力が不可欠となります。企業様には、自社の魅力・強み・仕事のやりがい等を学生に伝える機会と捉え、積極的にご協力いただけましたら幸いです。

本報告書は、2023年度（令和5年度）の本学のインターンシップ取組状況及び受入実習先様からお寄せいただいたアンケート調査結果・ご意見等を取りまとめて作成いたしました。

本学学生のインターンシップをお引受けいただき、また、アンケート調査にご協力いただいた企業様・法人様・官公庁様には心よりお礼申し上げます。

本報告が、今後のインターンシップ実習生受入れのご参考になれば幸いです。

理事（教育・評価担当）・副学長
林 邦彦

2023年度 インターンシップ 受入企業・法人・官公庁



2023年度インターンシップでは、次の企業・法人・官公庁の皆様へ受入をしていただきました。業務ご多忙の中、ご協力をいただきありがとうございました。
(2024年2月末把握データにより作成)
(実習参加学生人数は延人数で集計)

共同教育学部・情報学部・社会情報学部・社会情報学研究所・医学部・医学系研究所

株式会社群馬銀行 株式会社高崎共同計算センター JOETSUグループ NTTテクノクロス株式会社 アイリスオーヤマ株式会社 トヨタ・コニック・プロ株式会社 トワロデザイン ニフティ株式会社 ますも証券株式会社 株式会社E&W 株式会社RIWB 株式会社クスリのアオキ 株式会社しまむら 株式会社スバルロジスティクス 株式会社ナブアシスト	株式会社フォーミュレーションI.T.S. 株式会社フレックス 株式会社ホンダコムテック 株式会社大創産業 株式会社電通PRコンサルティング 株式会社東京インテリア家具 岩瀬産業株式会社 桐生信用金庫 小倉クラッチ株式会社 太陽誘電ケミカルテクノロジー株式会社 朝日印刷工業株式会社 独立行政法人日本貿易振興機構 独立行政法人 国際協力機構 日本ミシュランタイヤ株式会社 株式会社セブン-イレブン・ジャパン	カネコ種苗株式会社 【31企業・法人(63名)】 ***** 群馬県地域創生部くま暮らし・外国人活躍推進課 群馬県産業経済部産業政策課 足利市役所 茨城県庁 宇都宮市役所 岩手県庁 宇都宮市役所 大泉町役場 太田市役所 高崎市役所 長岡市役所 みどり市役所	伊勢崎市役所 茨城県庁 桐生市役所 群馬県庁(行政事務) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 黒部市役所 埼玉県庁 渋川市役所 常総市役所 前橋市役所 【21官公庁(43名)】 (順不同・敬称略) 53企業・法人・官公庁 (91名)
--	--	--	--

※()内数字は、複数名の実習受入の場合の人数

理工学部・理工学府

(株)IHI (株)アイシン (株)アイチコーポレーション アキレス(株) アクセンチュア(株) 旭化成アマダ(株) アズワン(株) (株)アドバンテスト アドバンテック(株) アドマテックス (株)有沢製作所 (株)アリミノ (株)あわしま堂 (株)アンデルセングループ 出光興産 伊那食品工業(株) イビデン(株) イリノ電子工業(株) 岩下食品(株) (株)インターネットイニシアティブ インフォコム(株) (株)植木組 新潟本店 ウシオ電機(株) 栄研化学(株) (株)エス・エス・シー SMC(株) (株)エスビック (株)エナリス(KDDIグループ) NRIシステムテクノ(株) (株)エヌアイティ NEC(日本電気株式会社) NECネットエスアイ(株) N T Tアノードエナジー(株) (株)エヌ・ティ・ティ エムイー エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株) (株)NTTデータ エバラ食品工業(株) FDK(株) (株)エム・エス・ケー 王子製鉄(株) 大龍ジャッキ(株) (株)オオバ (株)大林組 (株)オープンハウス (株)岡本工作機械製作所 (株)OKIソフトウェア 沖電気工業(株) (株)奥村組 小倉クラッチ(株) (株)小田原エンジニアリング (株)小野測器 カーリットホールディングス(株) カインダストリーズ(株) 小屋名本社 鹿島建設(株) (株)片平新日本技研 川崎重工(株) 関西酵素(株) 関東化学(株) 関東電化工業(株) (株)キーテクノロジ (株)キーワードマーケティング キャンオン(株) キャンオン・コンポーネンツ(株) 九州旅客鉄道(株) 京セラ(株) 極東興和(株) (株)キリウ (株)グローセル 群栄化学工業(株) (株)群馬銀行 群馬テレビ(株) ケイアイスター不動産(株) (株)建設技術研究所	小林工業(株) コベルコ建機(株) (株)コマツ (株)小松製作所 佐田建設(株) Sansan(株) サンデン(株) 三和油化工業(株) JR東日本コンサルタンツ(株) (株)ジェイアール東日本都市開発 JSR(株) JX金属(株) (株)JBCC しげる工業(株) (株)静鉄ストア システムセイコー(株) 清水建設(株) 清水総合開発(株) ジャパン マリンユナイテッド(株) 正田露油(株) (株)情報技研 昭和(株) シーボンド建設(株) 信越化学工業(株) 信越ポリマー(株) 新菱冷熱工業 S k y (株) (株)SUBARU 住友ケミカルエンジニアリング(株) 住友重機械工業(株) 住友電機工業(株) 住友ベークライト(株) セイコーエプソン(株) (株)セガ 積水メディカル(株) (株)セコムトラストシステムズ ゼネリックソリューション(株) ソニーセミコンダクタソリューションズ(株) SOLIZE(株) 大栄不動産(株) (株)タイカ 大昭和紙工業(株) 大成建設(株) 大成有楽不動産(株) 大日精工工業(株) 大日本印刷(株) 大日本ダイヤコンサルタンツ(株) 太陽自動車(株) 太陽誘電(株) 太陽誘電ケミカルテクノロジー(株) 太陽誘電モバイルテクノロジー(株) タキロンシーアイ(株) タマボリ(株) (株)タムラ製作所 中外製薬工業(株) 千代田工業(株) TIS(株) (株)DTSインサイト TDK(株) TDCソフト デクセリアルズ(株) (株)テクノプロ テクノプロ・R & D社 (株)デンソークリエイト 東海カーボン 東海旅客鉄道(株) 東急(株) 東急不動産 SC マネジメント(株) 東京エレクトロン(株) 東京コンピュータサービス(株) 東京電設サービス(株) 東京電力ホールディングス(株) 東光電気工事(株) (株)東芝	東芝マテリアル(株) 東神開発(株) 東ソー(株) 東武鉄道(株) 東洋インキSCホールディングス(株) DOWAホールディングス(株) 都市開発設計(株) 凸版印刷(株) (株)トマル トヨタ自動車(株) トヨタ自動車東日本(株) トヨタテクノカルディベロップメント(株) トヨタネ(株) (株)トヨタユセック ナガセケムテックス(株) (株)ナノコネク (株)ナブアシスト 奈良建設(株) (株)ニコン 日揮ホールディングス(株) 日産自動車(株) 日清エンジニアリング(株) 日清製粉ウェルナ 日新電機(株) 日清紡ホールディングス(株) 日清紡マイクロデバイス(株) (株)日水コン (株)ニッセーデリカ (株)日東システムテクノロジーズ社 日本アルゴリズム(株) 日本アルコール産業(株) 日本カバヤ・オハヨーホールディングス(株) 日本クッカー(株) 日本信号(株) 日本精工(株) 日本年金機構 日本パリゾン ニテックアドバンスドモータ(株) 一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 日本交通(株) 日本測地設計(株) 一般財団法人日本品質保証機構 日本無線(株) 日本理化学薬品(株) (株)ネクスコ東日本エンジニアリング (株)ネクステージ ネクセリア東日本(株) ネスレ日本(株) (株)ハイマックス 白十字(株) パシフィックコンサルタンツ(株) (株)長谷工不動産 (株)八州 (株)ハッファロー パナソニック エナジー(株) パソニック コールドチェーンソリューションズ社 (株)はま寿司 PHC(株) 東日本高速道路(株) 東日本旅客鉄道(株) (株)日立製作所 原子力ビジネスユニット 非破壊検査(株) BIPROGY(株) フアナック(株) (株)フォトン 富士エナジーエンジニアリング(株) 藤コンサル(株) 富士電機(株) 富士フィルムビジネスイノベーション(株) (株)フジインコーポレーテッド (株)フジヤマ 物産フードサイエンス(株) (株)プライムブレイス	freee(株) (株)ブリークアウト・ホールディングス 古河電気工業(株) 豊生ブレーキ工業(株) ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株) (株)ポティワークホールディングス 本田技研工業(株) (株)マイスターエンジニアリング 前田工織(株) (株)マキタ マチダコーポレーション(株) 丸彦製菓(株) (株)MARUWA 独立行政法人水資源機構 三井情報(株) 三井住友トラスト・システム&サービス(株) (株)ミツバ 三菱地所・サイモン(株) 三菱重工 三菱マテリアル(株) 三菱UFJトラストシステム(株) (株)源吉光庵 (株)ミネベアアミツミ (株)ミルボン (株)明治 メイテックグループ (株)メカチップス (株)森エンジニアリング 安田不動産(株) 矢作建設工業(株) 養命酒製造 ラクスル(株) (株)LIXIL 理研鍛造(株) リケンテクノス(株) (株)両毛システムズ ルネサスエレクトロニクス(株) レオン自動車(株) (株)レソナック (株)復建エンジニアリング 独立行政法人日本貿易振興機構 独立行政法人 国際協力機構 日本ミシュランタイヤ株式会社 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 群馬県地域創生部くま暮らし・外国人活躍推進課 【264企業・法人(407名)】 ***** 茨城県庁 太田市役所 桐生市役所 群馬県庁 環境森林部 群馬県庁 県土整備部 群馬県警察 経済産業省 国土地理院本院 埼玉県庁(産業技術総合センター北部研究所) 埼玉県庁 世田谷区役所 高崎市役所 千葉県庁 東京都庁 栃木県庁 長野県庁 長野市役所 平塚市役所 福井市役所 前橋市役所 【20官公庁(45名)】 (順不同・敬称略) 284企業・法人・官公庁 (452名)
--	---	--	---

※()内数字は、複数名の実習受け入れの場合の人数



全学共通講座

エントリーシート対策講座

開催日時	対象	開催方法
4月26日(水)～5月12日(金)	インターンシップ参加希望学生	オンライン 動画配信

マナー講座

開催日時	対象	開催方法
7月12日(水)～7月26日(水)	インターンシップ参加希望学生及び就活開始学生	オンライン 動画配信

荒牧キャンパス

事前説明会

開催日時	対象	開催方法
5月15日(月) 16:00～	インターンシップ参加希望学生	対面 10号館224教室

事前講座

開催日時	対象	開催方法
7月14日(金)～9月29日(金)	インターンシップ参加予定学生	オンライン 動画配信

成果報告会

開催日時	対象	開催場所
10月30日(月)16:00～	インターンシップ参加学生及び学部2年生	対面 10号館224教室

桐生キャンパス(理工学部・理工学府)

事前説明会

開催日時	対象	開催方法
4月7日(金)12:30～、 14:30～、16:30～	インターンシップ参加希望学生	対面

事前講座

開催日時	対象	開催方法
7月12日(水)16:10～	インターンシップ参加予定学生	対面

成果報告会

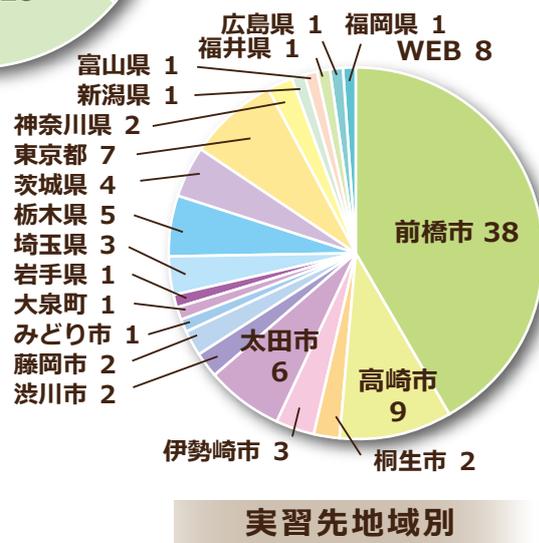
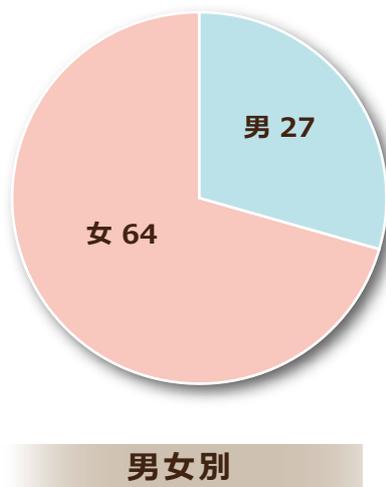
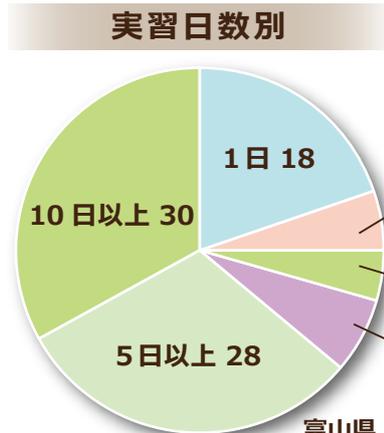
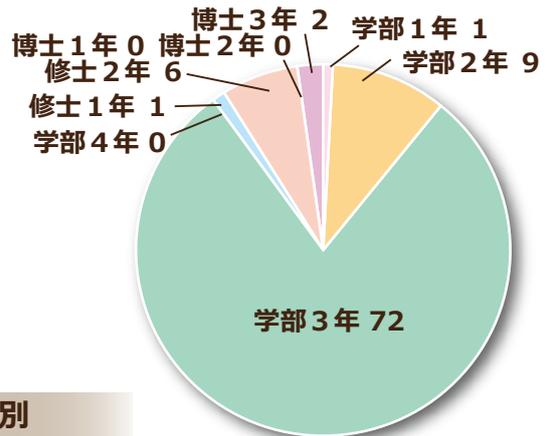
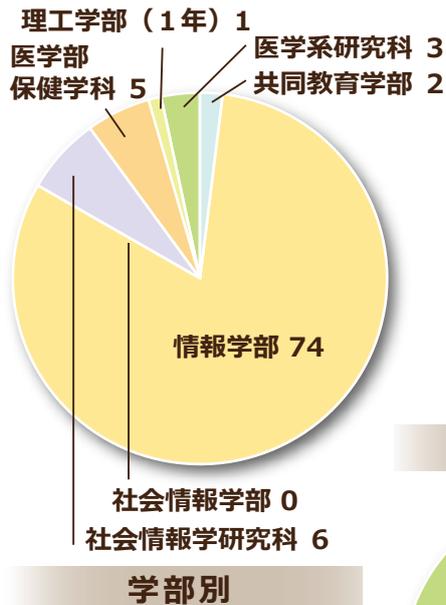
開催日時	対象	開催方法
11月17日(金)17:35～	電子情報通信プログラム 知能機械創製理工学教育プログラム 電子情報・数理教育プログラム インターンシップ参加学生及び学部2年生	対面

インターンシップ参加学生



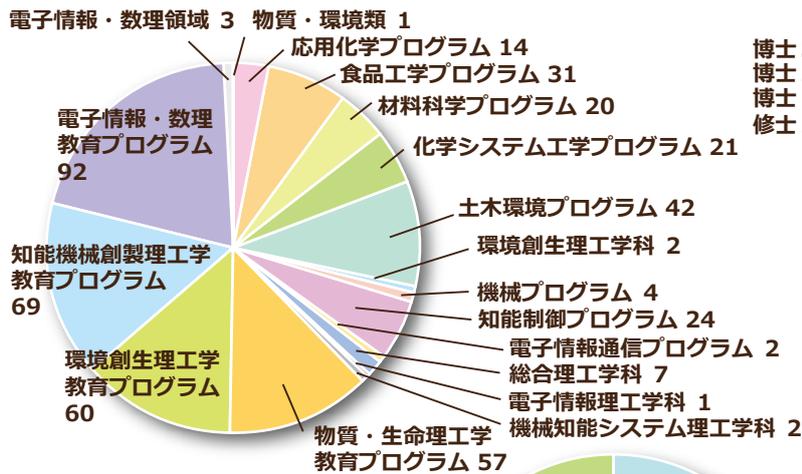
共同教育学部・情報学部・社会情報学部・社会情報学研究科・医学部・医学系研究科

参加者 **91名**

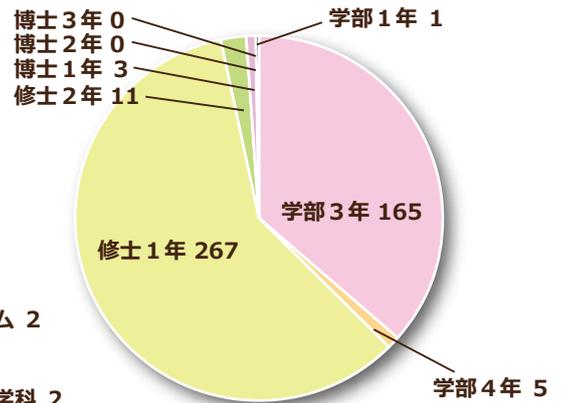


理工学部・理工学府

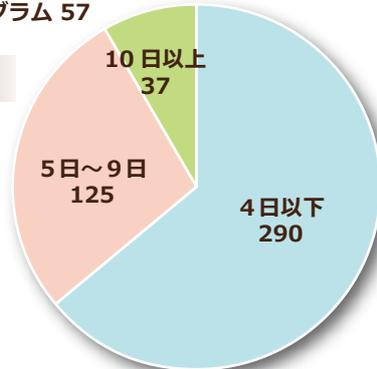
参加者 452名



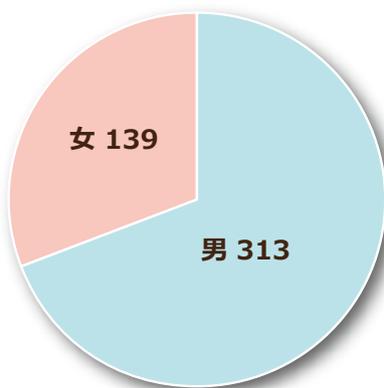
学科・専攻別



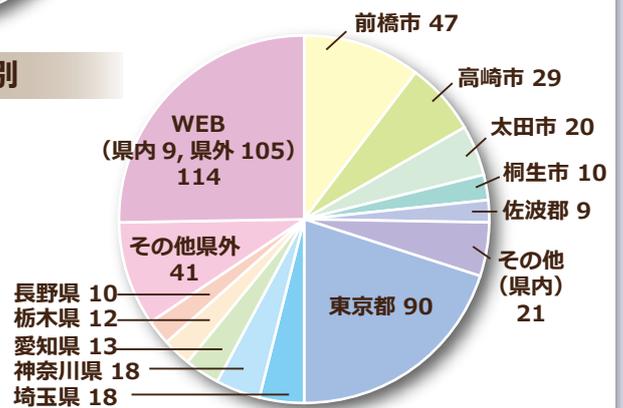
学年別



実習日数別



男女別



実習先地域別

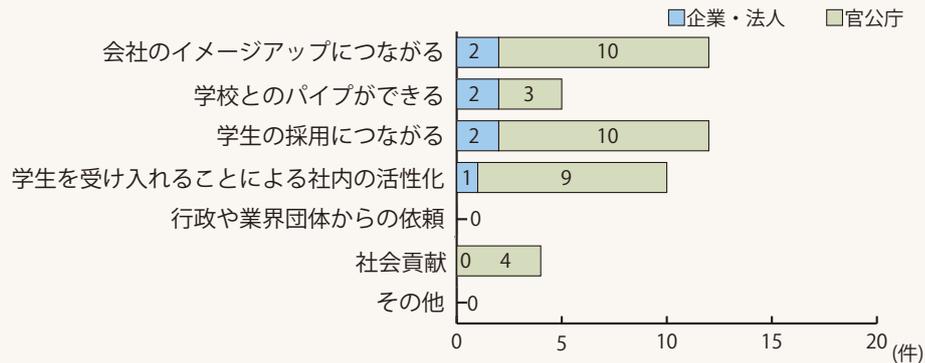
受入実習先アンケート結果



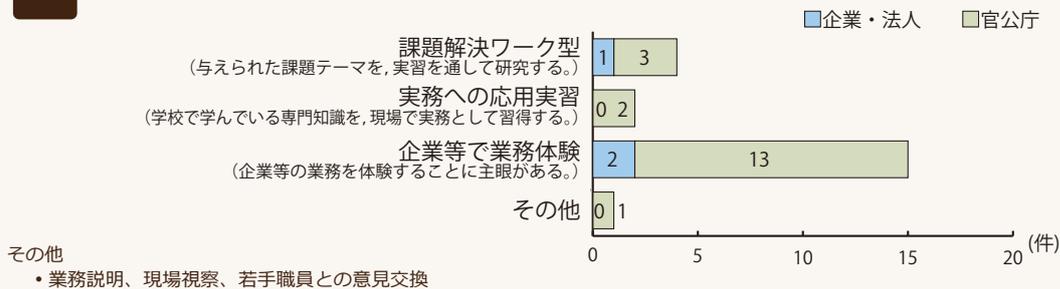
大学経由でインターンシップに申込・依頼をした企業・法人・官公庁にアンケートを実施し、18社・機関から回答を得ました。

共同教育学部・情報学部・社会情報学部・社会情報学研究科・医学部・医学系研究科

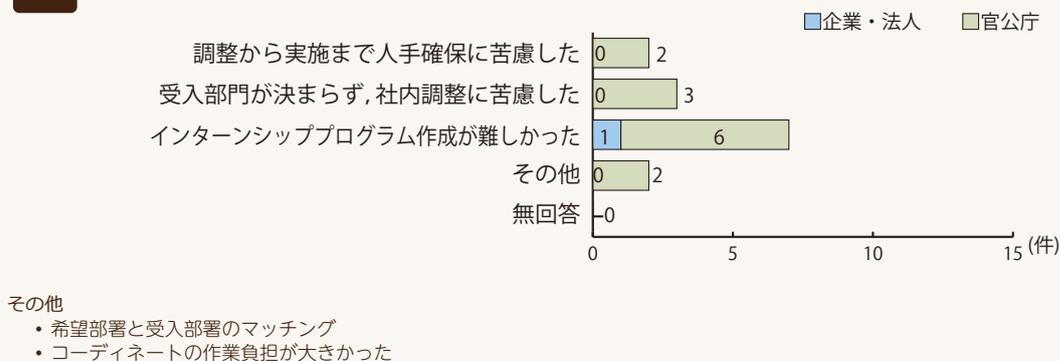
問1 今回のインターンシップを実施した理由をお伺いします。(複数回答可)



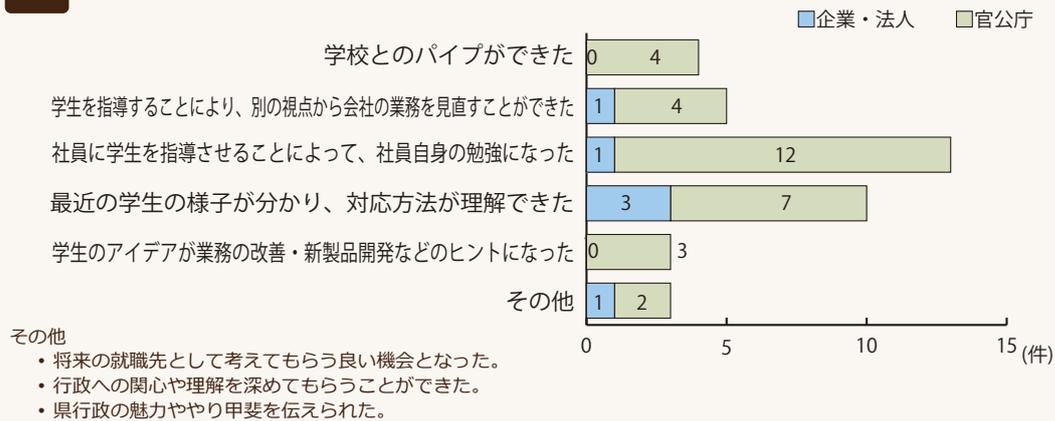
問2 実施したインターンシップはどのような内容・類型でしたか。(複数回答可)



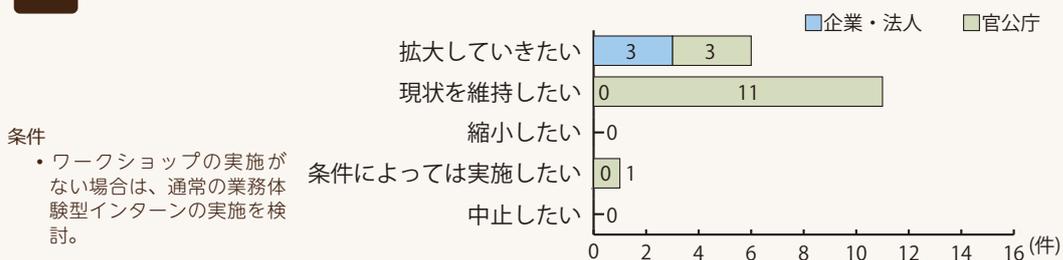
問3 実施に当たって、苦労したことは何ですか。(複数回答可)



問4 今回、インターンシップを実施して良かったことは何ですか。(複数回答可)



問5 今後のインターンシップについて、どのようにお考えですか。



問6 今回のインターンシップについてのご意見・ご感想、または群馬大学についてご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

- 取組姿勢や態度も良好で、貴学の学生指導が行き届いている結果と感じました。
- 現場実務を体験できる機会は貴重と思いますので、できるだけ志望動機の強い学生の推薦をお願いいたします。
- インターンシップの実習先部署について、申し込みの段階で大学側で分散するよう調整いただけると助かります。
- 限られた期間で現場の活きた体験をしてもらうため、研修のあり方をどのように進めるか苦心しています。
- 他校からもインターンシップ希望の学生多いため、来年度以降も5、6月頃から早めに問い合わせいただきたい。
- 学生の希望する時期は、お盆や市議会の開催時期で、学生と配置先とのスケジュール調整が難しい。こちらでもできる限り学生の希望する部署に配置できるよう配慮したいため、学生には、希望部署やそこを選んだ理由、実習を希望する理由等しっかり書いていただきたい。学生の思いを伝えることで希望部署への依頼がスムーズになり、希望も通りやすくなります。
- インターンが希望する内容のプログラムを用意することはなかなか難しいため、違った視点から自身のテーマを探求してもらえるようにしました。今後も学生の希望とのアンマッチにご理解いただけると幸いです。
- インターンシップは、学生の就業意識の向上を図るとともに、弊所の業務内容の「魅力」や「やりがい」を学生の皆様に伝え、将来の優秀な人材確保に繋がる取組であることから、弊所の業務内容に関心があり、インターンシップ実習を積極的に行う意思を持つ学生への周知や、参加の勧奨について引き続き御協力くださいますようお願いいたします。
- 実習受入部署によっては、業務実習より、各施設の見学や体験が多くなっ

- たところもあり、実習生によっては期待と異なる実習であったかもしれませんが、働く職場や業務を行う現場をご覧いただき、実際に働くときのイメージを体感していただければと考えてプログラムを作成いたしました。
- 今後も実際に働くときの姿を実感いただけるようなプログラムとしてまいりますので、公務員を目指す、より多くの学生の皆様に御参加いただけるよう、募集案内の提供等につきまして、御理解、御協力くださいますようお願いいたします。
- 来年度も本市ではインターンシップを実施する予定ですので、貴大学の学生様に対しまして、ご周知いただき、来年度も多くの学生様から本市インターンシップにご参加くださると大変幸いです。今後とも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。
- 本年は、インターンシップに参加希望の学生を送り出していただき、ありがとうございました。受入部署からも学生から刺激をもらったということも聞いております。次年度以降についても、本県に興味関心がある学生がいらっしゃれば、インターンシップ制度を周知していただければ幸いです。
- 区でのインターンシップを通じて公務員の仕事を知っていただき、今回の経験を今後の学生生活に生かしていただけたら嬉しく思います。また、今回の実習を経て得たものや感じたことについて、他の公務員希望者へ発信する機会があればぜひ発信していただきたいと考えています。
- 弊社の知名度UPに繋がることもあり、インターンシップは継続して受け入れていきたいと考えています。ご希望される学生さんがいましたら、弊社を紹介いただければ幸いです。
- 現状の範囲内になってしまいますが、会社と学生さんとの相互理解を深める場になればと思います。

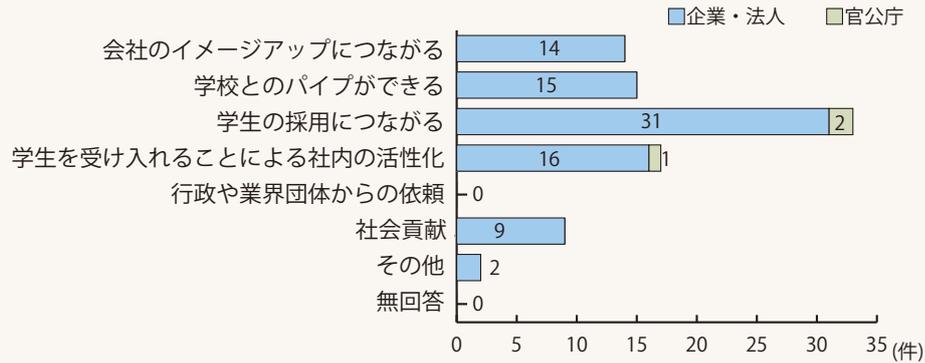
受入実習先アンケート結果



5日間以上のインターンシップ受け入れ企業・法人・官公庁にアンケートを実施し、35社・機関から回答を得ました。

理工学部・理工学府

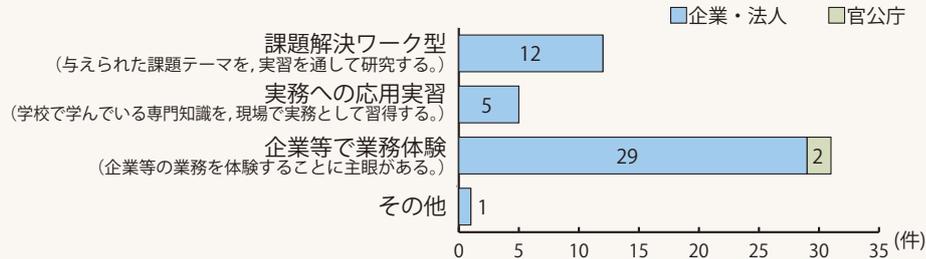
問1 今回のインターンシップを実施した理由をお伺いします。(複数回答可)



その他

- ・キャリア形成支援の取り組みの一環として実施
- ・業界の周知度の向上

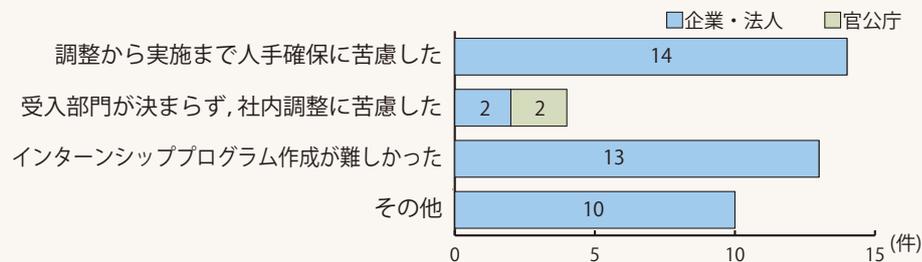
問2 実施したインターンシップはどのような内容・類型でしたか。(複数回答可)



その他

- ・実際のAI開発やシステム開発を二卒の背景から解説し、質問を受けることで理解度を測る。

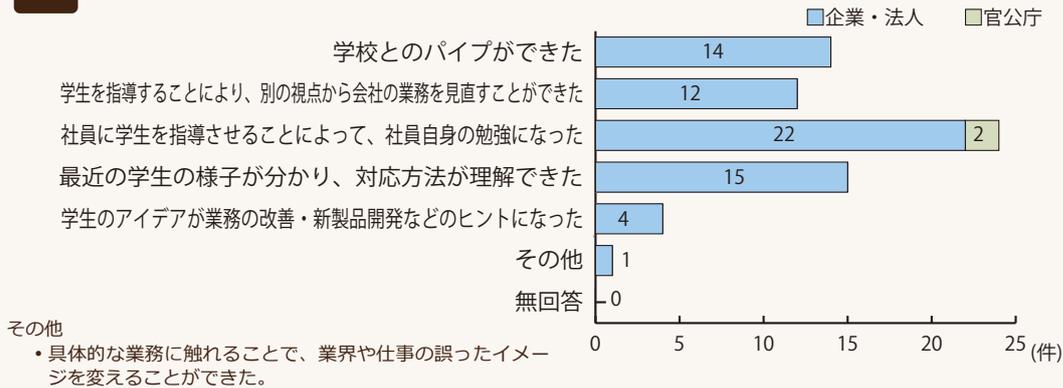
問3 実施に当たって、苦労したことは何ですか。(複数回答可)



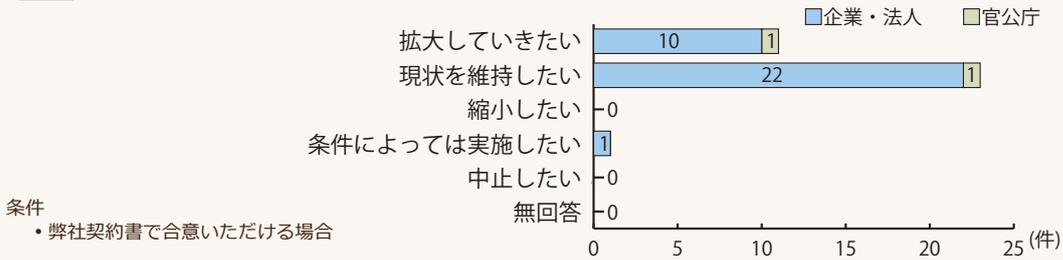
その他

- ・プログラムが多く、各部署との調整に時間を要した点
- ・日々の業務との調整やプログラム作成の難しさはあるが、受入による良い点も多いため、苦労とは捉えていない。
- ・学生との日程調整
- ・応募者の選考、実習の受け入れ人数が最大4名のため
- ・応募者確保に向けた広報施策に苦労した
- ・学生の選考、社員への負担増への配慮
- ・受入に伴う諸準備
- ・特になし
- ・契約手続き
- ・参加学生の確保 (スキルセットなどのマッチングほか)

問4 今回、インターンシップを実施して良かったことは何ですか。(複数回答可)



問5 今後のインターンシップについて、どのようにお考えですか。



問6 今回のインターンシップについてのご意見・ご感想、または群馬大学についてご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

- 今回ご参加いただいた学生は、人にも課題にも主体的かつ積極的に取り組まれ、素直に学びを吸収する姿勢が窺えました。今後も、貴学より意欲溢れる学生の皆さまを積極的に受け入れていきたいと考えております。引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。
- 特にグループワークではリーダーシップを取っていたことが印象に残っています。
- 毎年インターンシップに参加していただき誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いました。
- 当社のインターンシップは、事前に、当社指定エントリーシート・作業服サイズ表の提出、日程調整など、学生さんとのやりとりをすることが多くあり、調整が進まないことも多くあります。しかし、群馬大学の学生さんは書類の提出や日程調整の連絡も早く、大変助かりました。
- この度は、弊社のインターンシップを学内に広く展開いただき、また1名の方にご参加いただき感謝申し上げます。今後ともインターンシップを拡大していきたいと考えておりますので、弊社にご興味がありそうな方がいらっしゃれば、ご紹介賜りたくお願ひ申し上げます。今後とも何卒よろしくお願ひ致します。
- とても良い学生でした。インターンシップ終了後も連絡をいただければ最大限フォローアップいたします。
- 今後とも貴校から優秀な学生がインターンシップにご参加、また選考にご応募頂けると幸いです。
- 採用活動を視野に入れた内容が出来ればと思っております。お二人にとって当社のインターンシップが良い経験となったのであれば幸いです。
- 来年度も夏ごろに同様の職場受入型インターンシップを開催予定ですので、貴学の優秀な学生のみならずにご参加いただけますと幸いです。
- とても積極的に実習にとりこんでいただき、実際に資料作成補助等も実施いただけて助かりました。ご本人にとって、本業界や弊社への関心を高めるきっかけ・就職へのよい判断材料になったら幸いです。
- 弊社は公共交通機関の建設・維持等を行う会社であり、社会的責任も高く、決して楽な職場ではありません。そういった環境であるものの、一緒に働くことのできる志の高い若者が少しでもインターンシップ実習を通じて弊社事業に理解を頂き、選択肢の一つとして考えていただけると幸いです。
- インターンシップへのご参加ありがとうございました。来年度も実施予定ですので、是非本業界へ興味関心のある方がいらっしゃいましたらご参加お待ちしております。
- この度はコマツ小山地区夏季インターンシップを貴校内へ周知頂き誠にありがとうございました。引き続きよろしくお願ひいたします。
- この度は、貴学生に三菱重工機械システム分野の夏期インターンシップへご参加いただき、誠にありがとうございました。今回のインターンシップが、参加学生にとって有意義な体験となり、また、就職活動において企

- 業探しをする上での一助となれば、幸いです。次回は、冬期インターンシップを予定しております。ご興味を持っていただけるようなテーマを準備し、お待ちしておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。
- 来年度以降も同様の形式のインターンシップを開催いたしますので、貴校の学生さんにご参加いただけますと幸いです。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。
- お二人とも礼儀正しく実習態度が大変良かったです。お二人に実習を指導することや、実習を通して学生の方とコミュニケーションがとれることは弊社にとっても勉強になり良い影響になっております。今後とも引き続きよろしくお願ひ申し上げます。
- この度は、弊社インターンシップにご参加いただき誠にありがとうございました。短い期間ではありましたが、学生さんの今後に少しでも役立つ時間を提供できたのであれば幸いです。また、弊社としてもインターンシップは知ってもらう貴重な機会だと考えていますが、応募した方全員にご参加いただくことは運営上難しいことをご理解いただければと思います。今回参加できなかった学生がいましたら、学内で情報を展開していただく等、ご協力いただけると幸いです。今後ともよろしくお願ひいたします。
- 非常に優秀な学生であり、こちらで計画していた作業を前倒しで完了することもできました。本人も楽しく業務を実施できたのではないかと思っています。このような活動はお互いに有益なものだと認識しておりますので、引き続き継続頂ければと思います。
- 今回は学生主導で依頼であり、貴大学への連絡が事後となり申し訳ありません。現段階では、契約内容を見直すことは考えておりません。
- 協定書の締結に関して、大変ご迷惑をお掛けしました。来年度以降は締結対応を見直してまいります。
- この度は弊社インターンシップへお越しいただき有り難うございました。来年度2026卒のインターンシップも今年同様の開催になりますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。群馬大学様で、25卒就活セミナー、26卒インターンセミナーなど開催予定ございましたら、お手数ですが、ご案内いただけますと幸いです。
- 現在は、平塚市では土木職・建築職の新卒者の採用に苦慮をしております。今回のインターンシップでは貴学から土木職のインターンシップ実習生をお申込みいただき感謝をしております。引き続き、貴学の学生で地方公務員志望の学生がいらっしゃれば積極的に周知をお願いいたします。特に、土木職・建築職の学生に周知いただけますと幸いです。
- 区でのインターンシップを通じて公務員の仕事を知っていただき、今回の経験を今後の学生生活に生かしていただけたら嬉しく思います。また、今回の実習を経て得たものや感じたことについて、他の公務員希望者へ発信する機会があればぜひ発信していただきたいと思います。

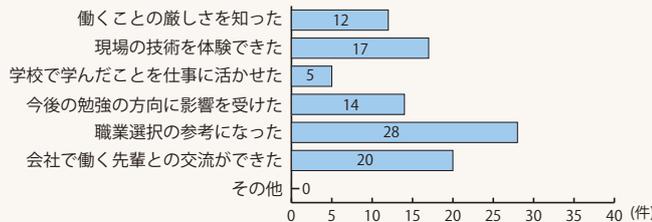
学生アンケート結果



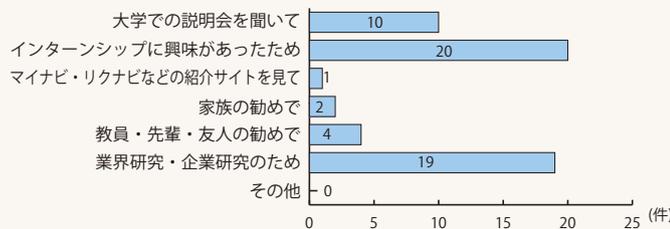
対面式インターンシップに参加した学生を中心にアンケートを実施し、28名から回答を得ました。

共同教育学部・情報学部・社会情報学部・社会情報学研究科・医学部・医学系研究科

問1 インターンシップに参加して得られた成果は何ですか。(複数回答可)



問2 インターンシップに参加したきっかけは何ですか。(複数回答可)



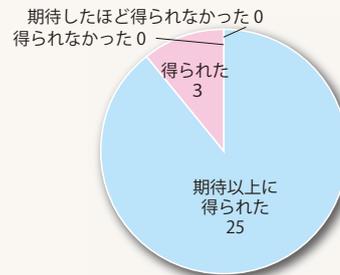
問3 インターンシップでの体験内容について、満足度を教えてください。



大変満足している理由：

- 職員の方々の業務への取り組み方や現場への関わり方について学ぶことができ、大変参考になったため。
- WEB記事を書いたり、納品に行ったりとインターンシップに行かなければ体験できないようなことを体験させていただいたから。
- ホームページ等ではわからない職場の雰囲気を学べたため。
- 先輩のとのフリートークが楽しかった
- 業務に触れられたことはもちろん、実際に働く職員の方々のリアルな声を聞くことができ、行政サービスや働くことについての見方を変えることができたから。
- 事業内容の説明だけではなく実際に現場に連れて行っていただき、現場の状況を経験できたから。
- 業務内容を理解したことで、公務員という選択肢をより考えるきっかけになったため。
- 職務内容について理解できたから
- 非常に良い体験をできたから。
- 希望調書などを踏まえた実習プログラムを組んでくださったため、自分の関心がある事柄について新たな観点から学ぶことができたから。また他のインターンシップ生との交流の時間も、とても良い刺激を受けることができたから。
- 実際に業務の見学をしてみると、群馬県庁の業務内容が想像していた以上に多岐に渡っていることを知ることができ、驚きとともにやりがいを感じることができたからです。私は将来公務員として、地方行政に携わりたいという目標はあったものの、具体的な仕事内容についてはあまり知らなかったのですが、インターンシップに参加したことによって、行政の仕事について理解を深めることができました。また、職員の皆様から様々なお話を伺いさせていただけたことも、

問4 今回の体験は今後の就職活動に役立つ知識・情報や新たな発見が得られましたか。



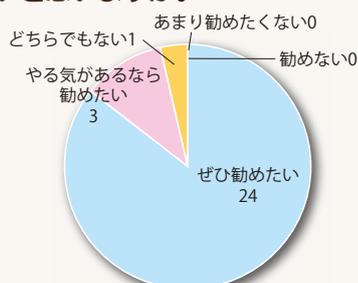
公務員を目指す私にとって大変意義深いものであったからです。

- 職場の方々と業務内容に限らず様々なお話をさせていただくことができたから。
 - 知らないことを知れたから。
 - 内容理解ができた。
 - 実際の開発業務をそのまま体験させていただいた為。
 - 実際に業務を体験することができ、社会人として働く姿をイメージすることができたから。
 - たくさんの職員の方々とお話しすることができたから。
 - インターンシップを通じて、今の自分に何が足りないかを自覚できたから。
 - インターンの目的であった職場の雰囲気や仕事内容を理解できたため。
 - 自分の経験がどのように生きるのかを知ることが出来た。
 - 働くことの厳しさを知った、今後の就職方向についてことを分かった。そして、開発課、技術サポート課は具体的にはどのような仕事を行うを学んだ。
 - メンバーとの交流がたのしかった。
 - 現在の自分と働くことの距離を確認できた。
 - 個人に合わせ実習内容を変えて下さり、疑問を解決することができました。
 - 学校生活だけでは経験できない、見ることができない現場に足を踏み入れることができたから。
 - 5日間で多くの実習が体験でき、また、職員の方々から多くの情報を得ることができたから
- まあまあ満足している理由：
- 2日間だったため、業務を理解することはもちろん、たくさんの先輩社員と触れ合うことができた。
- 少し不満である：
- 実際の商品について分析することができた。しかし、時間にルーズな部分があり、開始時刻になってもなかなか担当の人がでてこなかった。

問5 実習先で成果発表を行いましたか。



問6 後輩にもインターンシップへの参加を勧めたいと思いますか。



問7 インターンシップを実施するに当たっての問題点があれば指摘してください。

- 報告など大学側にすべきことがわかりづらかったように思う。

問8 今回のインターンシップについての意見・感想、今後のインターンシップについての要望・提案があれば記入してください。

- インターンシップを通して現場を知ることの大切さを学びました。現場に添いながら責任感を持って業務に取り組むことのできるような職員を目指していきたいと感じました。
- 少し期間が長いように感じたので、もう少し短い期間でも設けていただけると参加しやすいと思いました。
- 今回のインターンシップに参加できて本当に良かったと心から感じている。生き生きと働く先輩たちの姿を拝見し、自分も将来この職場で働きたいという思いが強くなったからである。職場の雰囲気や具体的な業務内容など、インターンシップに参加しなければ、得られない情報はたくさんあると思うので、後輩たちにもぜひインターンシップに参加することをお勧めしたい。
- 貴重な体験ができてよかったです。ありがとうございました。
- とても有意義なインターンシップでした。ありがとうございました。
- 学校で勉強できないことがあるので、そして、早めに働くことの厳しさを知るほうが良いと思う。
- インターンシップでは大変貴重な経験をすることができ良かったです。今後の就職活動の糧にしたいです。

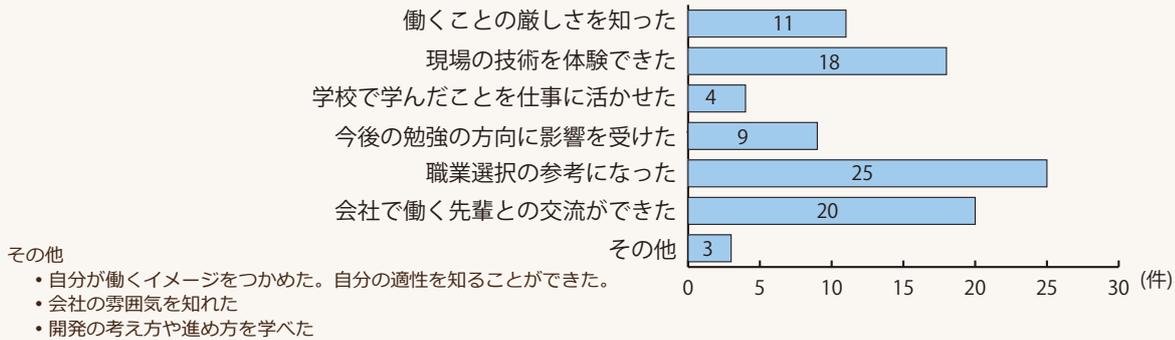
学生アンケート結果



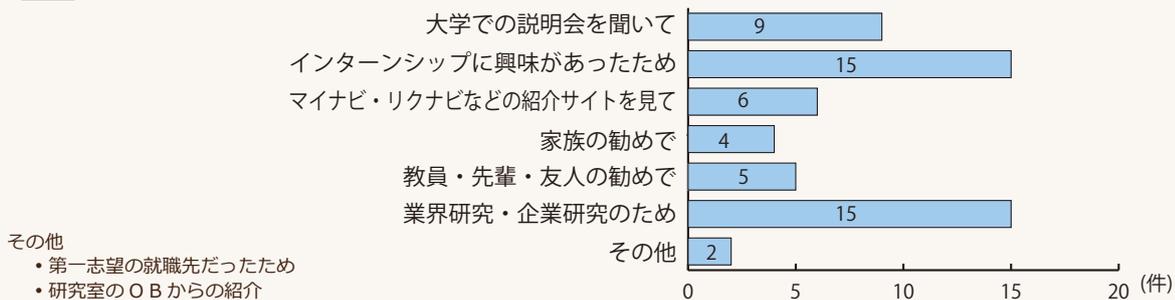
5日間以上のインターンシップに参加した学生にアンケートを実施し、29名から回答を得ました。

理工学部・理工学府

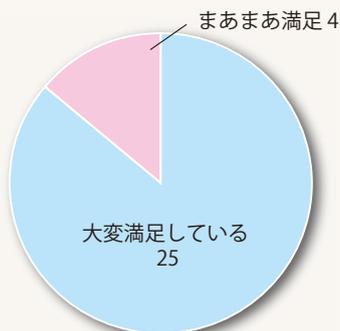
問1 インターンシップに参加して得られた成果は何ですか。(複数回答可)



問2 インターンシップに参加したきっかけは何ですか。(複数回答可)

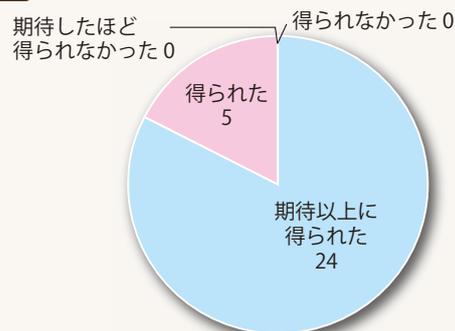


問3 インターンシップでの体験内容について、満足度を教えてください。



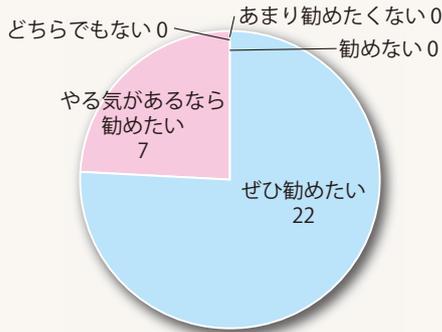
- 大変満足している理由：
- ・実習中、とても親切に教えていただいたため
 - ・まちづくりの概要を学び、社会人として働くうえでの大切なポイントを吸収することができたから
 - ・モノづくりの概要を学び、社会人として働くうえでの大切なポイントを吸収することができたから
 - ・実際にどのような仕事をしているか見ることができたため
 - ・実際に業務の見学をしてみると、群馬県庁の業務内容が想像していた以上に多岐に渡っていることを知ることができ、驚きとともにやりがいを感じることもできたからです
 - ・開発部での様々な業務内容について実際に体験することができ、就職後のイメージが付きやすくなったため
 - ・体験した会社のいいところや、技術、開発の流れ等の参考になる点が多かったと感じたため
 - ・実際の職場を見ることができ、社内の雰囲気を知ることができた良

問4 今回の体験は今後の就職活動に役立つ知識・情報や新たな発見が得られましたか。

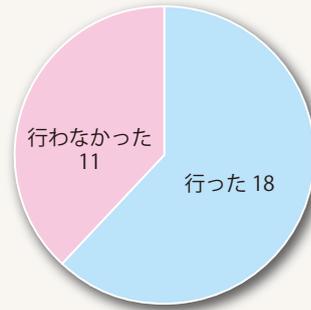


- い体験だった
- ・実際に働いている方にお話を聞くことで、インターネットで知ることのできないことを知ることができたため
 - ・仕事の内容についてだけでなく、これからの人生も生かすことができる知識が得られたため
 - ・実際の業務に近い形でヒアリングができたとともに、実際のプログラムを見ることもできたため
 - ・基礎的な研究、調味料作り、商品企画など様々なことができたため
- まあまあ満足している理由：
- ・自分の知らない太田市を知れた。
 - ・普段ではできないような貴重な体験が行えたため
 - ・色々なことをやらせていただいたが、実習内容が難しかったのですべて理解できず悔しかったため
 - ・実際にSEの職場を見ることができ、社内の雰囲気を知ることができた良い体験だった

問5 後輩にもインターンシップへの参加を勧めたいと思いますか。



問6 実習先で成果発表を行いましたか。



問7 インターンシップを実施するに当たっての問題点があれば指摘してください。

- インターンシップ生同士の交流する時間がもう少しあると嬉しかったです。
- 大学側に提出するものがわかりづらかったように思う。
- 周りの友達の中に募集を行っていたこと自体や応募期間がいつまでか知

らずにインターンシップに申し込み忘れてという人が何人かいました。本人の不注意でありますがりマインドメールを送っていただけるとインターンシップ参加者が増えると思います。

問8 今回のインターンシップについての意見・感想、今後のインターンシップについての要望・提案があれば記入してください。

- 実際の業務を体験させていただき、国土地理院での働き方がより明確に分かりました。お忙しい中本当にありがとうございました。
- 学部3年にもなると、ある程度学習も進んで専門的な内容も分かるようになってくるが、それが実際にどのように役立つか、自分がどのような業務に向いているかが実感として感じられた。自分は現時点で進学か就職かは決めていないが、実際の製造現場を見たことで今後の自分の学習姿勢や就職に向けた活動の方針が定まった。大変充実した5日間であった。
- 5日間という短い間だったが、自分の将来について考えるいい機会になった。実際に社員の方が働いている環境や、福井市役所の雰囲気を感じることがはるごくためになると感じた。インターンシップに参加できてよかった。
- 5日間という短い間だったが、自分の将来について考えるいい機会になった。実際に社員の方が働いている環境や、前田工織の雰囲気を体感することははるごくためになると感じた。インターンシップに参加できてよかった。
- 近くで生産工程を見ることができたり、たくさんの配属先の仕事を体験することができ、勉強になった。また、製品として販売されている電池の性能を間近で見学したことで、自分の研究のモチベーションにもつなげることができ、参加して良かったと感じた。
- 改めて市役所職員と市民の近さを実感しました。また、限りある予算であるため市民の要望に全て応えることができないことを知りました。その厳しい状況下でも市民のために業者と何度も話し合いを行い最善の方法を協議し、監督員として工事を行っている姿に感銘を受けました。また、日頃からパトロールを行い道路の危険箇所を見つけたり災害時には、いち早く現場に行き交通整備を行ったりと市民の生活を支える重要な仕事を行っていると感じ、より市役所での仕事の魅力を感じました。
- 貴重な体験ができました。ありがとうございました。
- インターンシップが始まる前は緊張や不安があったが、実際に参加してみると社員の方々も優しく接して下さり、実習内容も充実しており有意義な体験となった。インターンシップに参加しようか悩んでいる人はまたとない機会なのでぜひ積極的に参加してほしいと思う。
- 今回のインターンシップを通じて開発部のみならず、他の部署での仕事も体験することができ働く際のイメージが付きやすくなった。また、工場見学にも行かせていただき、開発部に開発された商品がどのように製造され、我々の手元に届いているのかについても学ぶことができたのでとても良かった。
- 実習内容が新人研修で行う内容だったため、実際に与えられた課題についてグループワークで話し合いながらプログラムを書いた。グループワークでは自分のアイデアが浮かばず消極的になっていたため、もっと積極的に話しかければ良かったと思う。また、先輩社員にコードの添削をしていただいて、見やすいコードの書き方はためになりました。
- インターンシップ実習を通して、働くことにイメージが湧き、将来自分がどのように働きたいかを深く考えるきっかけとなったため、参加して良かったと思います。今回の実習で多くの方々にお世話になったため、感謝を忘れずに、学んだこと、経験したことを今後の就職活動で活かしていきたい。
- 今回、インターンシップに参加し、職業体験ワークを行うことで、SEという職業についての認識が変わりました。具体的には、お客様の要望に応えるために、会話と分析が重要な職業であるという点です。また、グループワークを通じて、グループ内での会話や認識を合わせることの重要性、さらに自分自身についても知る良い機会になりました。
- 今回、残念ながら二日しか参加することができませんでした。最終日の成果報告会にオンラインで参加させていただけました。そのため、自分のグループの最終的な結果を見ることができただけでなく、他のグループでどういった考えが出たのか、新たな視点を知ることができました。また、適性検査と実習のフィードバックも送って頂けたため、自己分析にも役立ちました。
- 今回のインターンシップでは基礎研究、工場見学、商品開発など様々な部署で実習させて頂き、研究開発職について理解を深めたいという当初の目的以上の情報が得られました。またそれと同時に、将来は食品業界で働きたいと改めて思いました。
- 希望業界への志望度があがる貴重な体験ができました。研究職として働く自分を想像することができました。



目次

- | | | |
|-----------|--------------------------|------------------------------------|
| 15 | トロワデザイン | 情報学部 情報学科 3年 S・N |
| <hr/> | | |
| 16 | 株式会社群馬銀行 | 情報学部 情報学科 3年 A・N |
| <hr/> | | |
| 17 | 群馬県庁 | 情報学部 情報学科 3年 S・A |
| <hr/> | | |
| 18 | 渋川市役所 | 情報学部 情報学科 3年 M・S |
| <hr/> | | |
| 19 | 茨城県庁 | 情報学部 情報学科 3年 I・Y |
| <hr/> | | |
| 20 | 白十字株式会社 | 理工学部 物質・環境類 (応用化学プログラム) 3年 K・H |
| <hr/> | | |
| 21 | 高崎市役所 | 理工学部 物質・環境類 (土木環境プログラム) 3年 H・R |
| <hr/> | | |
| 22 | 株式会社アイチコーポレーション | 理工学部 電子・機械類 (機械プログラム) 3年 T・S |
| <hr/> | | |
| 23 | ニデックアドバンスドモータ株式会社 | 理工学部 電子・機械類 (知能制御プログラム) 3年 S・H |
| <hr/> | | |
| 24 | 国土地理院 | 大学院理工学府 物質・生命理工学教育プログラム 1年 N・M |
| <hr/> | | |
| 25 | 株式会社ハイマックス | 大学院理工学府 知能機械創製理工学教育プログラム 1年 T・S |
| <hr/> | | |
| 26 | FDK株式会社 高崎工場 | 大学院理工学府 環境創生理理工学教育プログラム 1年 U・K |
| <hr/> | | |
| 27 | 株式会社日水コン | 大学院理工学府 電子情報・数理教育プログラム (情報) 1年 T・R |

■インターンシップへの参加目的

自分が興味を持っていることに関する仕事に就きたいと考えており、そのような仕事に対し、適性があるのを知りたいと考えたため、インターンシップに参加しました。また、公式ホームページや就活サイトを見るだけでは分からないこともあると考え、インターンシップを通してその業界に関する知識や企業の雰囲気を知りたいと思い、インターンシップへの参加を決めました。

■実習企業・機関選定理由

実習企業を選定した理由は、学校経由のインターンシップ実施企業の中で自分が最も興味を持った企業がトロワデザインだったからです。公式ホームページからフリーペーパーの発行やMV撮影、イベント業務といったさまざまな事業をおこなっていることを知り、インターンシップへの参加により、実際に体験してみたいと思ったことがきっかけです。また、トロワデザインは就活サイトに登録されていないため、学校経由のインターンシップを逃したら、トロワデザインの方々とかかわる機会や業務について知る機会はないだろうと考え、応募を決めました。

■得られた成果

トロワデザインは求人をしていないということもあり、就職活動の相談をたくさんさせていただきました。特に就職活動の際の面接における受け答えに関しての話や自分の性格をどのように伝えたらよいかについての相談を聞いていただき、力がついたように感じます。また、私自身音楽業界や出版業界などに興味があり、「その業界で必要なことはなにか」「新人アーティスト・アイドルを売れさせるためにはどうしたらよいか」など質問を投げかけてくださり、今までと違う角度からその業界に関することを考えるきっかけをいただきました。

私の行きたい業界で働いている方が担当者の方の知り合いに多くいらっしゃったため、その方々がどのような考え方をしているのか、話をしてくださいました。インターンシップを通して、私が興味のある業界に対しての知識を増やすことが出来たと感じます。また、以前トロワデザインと私の所属するサークルがかかわっていたことを聞き、サークルに関する相談もさせていただきました。パンフレットの作成や企画内容などの相談をさせていただき、サークル活動で生かしていこうと思いました。

■実習を通じて感じたこと

今まで過ごしてきた自分の世界が狭かったということを実感しました。自分自身では日常生活の中でさまざまな情報を吸収しようとしているつもりでしたが、トロワデザインの方々とのお話を通して、まだまだ未熟だったことを感じました。納品の際に知らなかったお店が多くあったり、スポーツに関する知識が自分自身全くなかったりしたこと、知らない世界が広がっていることを痛感し、視野を広くしようと考えました。一方で、バイトやサークルにおけるこれまでの自分の経験が役立つ場面があり、学生時代に経験することはどのようなことも無駄ではないと感じました。

■後輩へのアドバイス

トロワデザインの方々は、私の知らないことや就職活動の際に役に立つことをたくさん教えてくださり、二人ともとても優しく接して下さいます。しかし、わからないことをすぐ相談することや報告、連絡をすることはとても大事だと思います。また、会社や働いている方々の雰囲気がわかるため、インターンシップに参加する前に電話をし、事前訪問をしてからインターンシップに望むべきだと感じます。事前訪問はスーツで伺いましたが、インターンシップ中は私服で行いました。納品をする日はたくさん歩くため、動きやすい服装・スニーカーで行くべきだと思います。

■最後に

今回のインターンシップを通して、学ばせていただいたことがたくさんあります。インターンシップが始まる前はとても不安でしたが、実際に始めてみると二人とも気さくに接して下さいました。また、インターンシップに参加しなければできない経験をさせていただいたため、インターンシップに応募してよかったと思います。

自分の視野が狭いことを実感したため、自分の興味ないことでもまずは知ろうとする努力が大事だと感じました。また、自分が就職したい業界に関する知識が増え、自分でも業界についてさらに知ろうと考えるきっかけになりました。インターンシップをさせてくれたトロワデザイン様にもこのきっかけをくれたキャリアサポート室にも感謝の気持ちでいっぱいです。

■具体的な実習内容

1日目

- ・ motto+ の企画案提出
- ・ 担当する記事の取材
- ・ 英語の記事校閲

2日目

- ・ 英語の記事校閲（1日目のつづき）
- ・ 担当記事の執筆
- ・ motto+ の梱包作業

3日目

- ・ motto+ 納品（板倉・館林～桐生）

4日目

- ・ motto+ 納品（高崎）

5日目

- ・ 担当記事の執筆、修正
- ・ ライターさんの記事校正

■インターンシップへの参加を考えた理由

金融業への就職を考えているから。

■実習先としてその企業等を選んだ理由

群馬県内で最も有名な金融機関だから。

■実習前に準備したこと

特になし

■得られた成果

実際の職場の雰囲気を知ることができた。

■実習を通じて感じたこと

2日間では短く感じた。

■後輩へのアドバイス

インターン先を選ぶときはなるべく実習期間が長い所を選ぶと良い。2日間では正直何もわからない。

■具体的な実習内容

初日は自己紹介の後、講義を挟み札幌体験を行い、午後はマナー講座の後実際の職場を見学した。2日目は講義の後グループワークを行い、最後に行員との座談会が行われた。

■インターンシップへの参加を考えた理由

実際の職場の雰囲気を体感し、具体的な業務内容について理解を深めるため。また、自分が働いている姿を、明確にイメージするため。

■実習先としてその企業等を選んだ理由

将来、群馬県職員として働きたいから。

■実習前に準備したこと

県庁のホームページにて、自分が配属された部署の具体的な業務内容の確認。

公共交通機関での通勤だったため、電車やバスの時刻表の確認。

また、インターンシップに参加して、自分が何を学びたいのかを明らかにしておく。

■得られた成果

社会人としてのコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。学生として日常を過ごしていると、社会人と接する機会は少ない。しかし、今回のインターンシップで、多くの社員の方と接し、社会人としての挨拶・言葉遣い・メールのマナーなどを、実際に習得することができた。

また、私がインターンシップに参加した目的でもある「自分の働いている姿を明確にイメージする」ということに関しても達成できたと感じている。生き生きと働く先輩たちの姿を目の当たりにして、私もこの職場で働きたいという思いがより強くなった。

■実習を通じて感じたこと

公務員というと、デスクワークが多く、黙々と事務作業をこなしているというイメージがあった。しかし、実際には、連携企業との会議や外部への出張などもあり、社員の出入りが多かった。そのような点で、公務員のイメージが大きく変わった。

また、職員の皆さんが、「コミュニケーション」を大切にしており、職場の雰囲気が良いという印象を受けた。些細なことでもしっかりと相互に確認を取ったり、先輩が後輩に親身になって教えていたり、和やかな雰囲気であった。業務を円滑に進めるためにも、「コミュニケーション」は非常に重要であると改めて気づかされた。

さらに、「職員のみなさんの優しさ」が非常に印象的だった。業務でお忙しい中、インターン生である私を気遣って、たくさん声を掛けて下さった。例えば、若手職員の方が、一緒に昼食を食べながら、試験勉強について相談に乗って下さったり、隣の席の職員の方が、作成資料に関してアドバイスを下さったりした。おかげで、私もあまり緊張しすぎずに実習に挑むことができた。

■後輩へのアドバイス

疑問点や知りたいことは、積極的に聞く。

メモをたくさん取ったり、大きな返事を心がけたりなど、意欲を見せる。

■具体的な実習内容

〈1日目〉

・県庁組織の概要や試験などについての説明（全体実習）

・県庁ツアー

〈2日目〉

・SDGs ビジネスプラクティス掲載企業の訪問（（有）永井製作所）

・「ぐんまの次世代産業リーダー育成講座」に参加

〈3日目〉

・係長の会議に同席

・実習初日に設定されていたテーマについて、自分なりに考え、資料作成

〈4日目〉

・アクエル前橋内の「tsukurun」にてVRや3DCGの体験

・前日の資料作成の続き

〈5日目〉

・所属部署の課長や部長などに向けて、作成した資料の報告・プレゼン

・グループワーク、全体報告会（全体実習）

実習先

渋川市役所

■インターンシップへの参加目的

本実習の目的の一つは、市役所に勤務している公務員の方々と知り、その業務を体験することだ。私は就職先として公務員を検討しているが、その業務は漠然とした印象にとどまっていた。この実習で公務員の、ひいては働くことへの具体的なイメージを掴み、自分の将来を考える大きなヒントにしたい。

また、大学で座学として学んできた内容を、行政の実務として体験することも目的の一つだ。実習を行うことで、普段とは異なる視点から物事を見ることができないのではないかと。特に、学問として憲法や民法、行政法等の法学を学んできた身として、学生としての立場であまり関わりのないような法律にも焦点を当てたい。

■実習企業・機関選定理由

上記の目的から、官公庁で実習を行いたいと考えた。大学経由の応募先一覧の中から、自宅から最も近く、かつ馴染みのある渋川市を希望した。

特に、条例や訴訟などの法律に直接関わる業務、法律と大きく関わりあう業務を体験したいと考え、総務部総務課を第一希望部署にした。また、第三希望として、学部の専門的な授業を受け、それが行政の実務にどのように活かせるのか、また、デジタル化に向けてどのような取り組みを行っているのか知りたいという理由から、情報防災部DX・行政管理課を希望した。

■得られた成果

2つの課にまたがる実習、そして他課の業務の説明もしていただいたことで、市役所の業務が課によって全く異なり、まるで別職種のように多岐にわたることが知れた。職員の方々は初めから専門性を持っているわけではないため、配属された課の知識を基礎から学ぶ必要があり、それが地方公務員としての苦勞する部分でもあり、やりがいでもあるようだった。

また、応募から終了後のお礼まで、実習の一連の流れを経験できたことも、社会人としてのマナーを習得する上で有意義であると感じた。特に、実習中に職員や市民、事業者など、様々な人と関わる機会があり、要所要所で自分のコミュニケーション能力の未熟な部分を痛感した。

■実習を通じて感じたこと

これまで目にしてきた役所の業務は窓口業務程度であったが、今回内勤の部署を経験したことで、窓口以外でも市民（事業者含む）との交流があり、市民のための業務が行われていることを知れた。公務員は「全体の奉仕者」として、市民の土台となって働いているということを感じた。

また、職員の方々がとても親身になってくださり、業務についてはもちろん、採用試験や勤務環境など、自分の知りたい様々な情報を教えていただいた。職員間の仲も良好で、所属する課に関わらず交流が見られた。業務は決して楽ではないが、そうした労働環境の良さによって、結果的にサービス向上に繋がっていくのではないかと感じた。これは公務員に関わらず、どの職業にも通ずることだと思う。

■後輩へのアドバイス

実習企業の選定も重要ですが、希望部署の選定も同様に大切にしてください。特に市役所は、行う業務が多岐にわたり、部署によって行う業務が全く異なります（職員の方も、「異動はまるで転勤」と仰っていました）。実習希望先の企業HPを中心に、どの部署がどのような業務を行っているかよく調べ、自分の体験したい部署を選定しましょう。

とはいえ、どの企業・部署であっても、経験すること自体が自分の糧になります。時間を割いて実習の場を提供してくださっている実習先の方々のためにも、積極的な行動を心がけましょう。

■最後に

今回の実習を経て、自治体や公務員、働くことなどへの見方が大きく変わったことで、就職活動への意識はもちろん、日常生活の気付きも増えた。行政に関するニュースを見ると、その裏で働く職員の努力を想像できるようになった。それだけで、実習を行った価値があると言える。ただ、そうした自然に起きた意識の変化だけでなく、学んだことを活かすために能動的に動く必要もある。得た知識や経験を基に、業界研究や自己分析といった就職活動の必須事項を進めていきたい。

また、自分の関心に基づいた実習内容を提供していただき、かつ親切に対応して下さった職員の方々にとっても感謝している。その感謝を身をもって表せるような学生生活を送りたい。

■具体的な実習内容

【8/7～8/9 総務部総務課実習】

- ・総務課の業務説明
- ・例規と例規システムについての説明、議案書の作成：刑法改正による整理条例を制定するための議案書を作成し、その読み合わせまで行った。
- ・行政相談委員との対話（伊香保）
- ・徳富蘆花記念文学館の見学（伊香保）
- ・情報公開制度及び個人情報保護制度の説明
- ・公文書管理についての説明、書庫の見学
- ・契約事務の説明、書類作成業務の体験：来年のコンプライアンス研修の担当をする体で、書類作成を通して起案から契約、会場準備までの業務フローを学んだ。
- ・法令の基礎についての説明
- ・コンプライアンス研修運営の補助：会場準備・片付けや受付などを行った。

【8/24～8/25 情報防災部DX・行政管理課実習】

- ・DX・行政管理課の業務説明
- ・RPA 研修受付業務
- ・モバイルLGWAN 端末設定
- ・LAN ケーブル結線作業の体験
- ・オープンデータ調査：他市町村のホームページに掲載されているオープンデータの種類や特徴などを調査した結果と、それを踏まえて本市に取り入れるべきと考える項目を報告した。
- ・スマートフォンよろず相談会の見学
- ・受注予定先企業との協議の同席
- ・渋Pay についての説明、店舗登録等の事務：新しく渋Pay 加盟店となる店舗をシステムに登録する業務や、店舗に郵送する書類の準備などを行った。
- ・渋Pay 加盟店の視察同行（市内）

■インターンシップへの参加目的

業務について調べるだけではわからないような職員の方々の業務への取りまとめ方や取り組みに込められた思い、そして実際に課題を抱えている現場とどのように向き合っているのかなど、実際の状況についてより深く学ぶことを目的として参加しました。

■実習企業・機関選定理由

茨城県庁・私は県庁の「県全体に関わる仕事に国や市町村、企業などとの繋がりを通して取り組む」という点に魅力を感じており、茨城県庁では子ども政策局があるなど進んだ福祉の取り組みもされているため、そういった点も学ばせて頂きたいと感じ、実習先として志望させて頂きました。

■得られた成果

- ・実際の現場（訪問先の認定こども園様）における課題を学ぶ事が出来た。
- ・保育現場における課題の深刻さを、保育体験を通して改めて実感する事が出来た。
- ・職員の方々が現場をどのような目線で学ばれているかを学ぶ事が出来た。
- ・職員の方々の業務への取りまとめ方を学ぶ事が出来た。
- ・子ども政策局様の業務の重要性を学ぶ事が出来た。
- ・子ども政策局様ではどのような取り組みをなされていて、その背景にはどのような課題があるのかを学ぶ事が出来た。

■実習を通じて感じたこと

実際の現場を通して、現場（訪問先の認定こども園）が抱えている課題をお聞きしたり、また保育体験を通してこれらの課題の深刻さについて改めて実感したりすることができ、改めて自分自身でも課題に向き合い考える姿勢を持つことの大切さを感じました。また、御説明や職員の方々とフリートークなどを通して、子ども政策局様ではどのような取り組みが行われていて、それがどういった背景を受けて、何を目指して行われているのかについて、そしてその取り組みをどう県民の方々にもお伝えしていくかなどについても学ぶことが出来、取り組みについての理解を深めることが出来ました。更に業務体験を通して茨城県庁子ども未来課様ではどのような業務をされているのか、どのように各施設や自治体など関わられているのかなども学ぶことが出来ました。実際に職員の方々と関わることで、改めて職員の方々はご自身のお仕事に責任をもって真剣に行われていることが非常によく伝わってきましたし、またどの職員の方々も業務についてお話し下さる際にはご自身の職務に対しての経験や気を付けられていることなどもお話し下さり、しっかりとご自身の業務に向き合っていることが感じられました。同時に、私もそのような責任感のある真剣に業務に取り組むことの出来る職員となることを目指して努力したいと思いました。インターンシップ全体を通して沢山のことを学ばせて頂くことが出来たと感じました。

■後輩へのアドバイス

職員の皆様は非常に親切に接して下さいました。業務について丁寧に説明して下さいたり、わからないことがあった際には質問をするとその度に丁寧に答えて下さったりしたので、わからないことや気になることがあれば積極的にすると非常に参考になると思います。

■最後に

私は事前に実習先のことやその業務などについて調べていましたが、インターンシップを通して職業体験を行ったり、職員の方々が業務に取り組まれている姿を見たりしたことで、更に県庁での業務についてや職員の方々がどのように業務に取り組まれているのかについてのイメージが広がり、より茨城県庁での仕事に魅力を感じられるようになりました。モチベーションの向上にもつながるのでインターンシップには積極的に参加することをお勧めします。

■具体的な実習内容

- ・保育施設見学
- ・課の業務に係る資料整理
- ・プレコンセプションケア講義参加
- ・課内ガイダンス
- ・若手職員の方々とフリートーク
- ・インターンシップレポートの作成

■インターンシップへの参加目的

将来、商品開発や品質管理の仕事を行いたいと思っていたためそれを体験できる良い機会になるのではないかと思ったので参加をした。

■実習先企業・機関選定理由

地元で就職したいと考えているため、群馬県内に研究・開発拠点があり、自分自身も知っていた企業であったから。また、医療機器や資材を取り扱っている企業に興味があったから。

■得られた成果

このインターンシップを経験したことによってまずは、白十字株式会社の活動について深く理解することができた。この実習を行う前では、この会社はガーゼや絆創膏などの衛生材料を取り扱っていることは知っていたが、大人用おむつなどの介護ケア用品も取り扱っているということはあまり知らなかった。そして、このような身の回りにある製品がどのようなプロセスを経て設計・開発が行われているのかについてよく理解することができた。特に大人用紙おむつはこれまでほとんど手に触れる機会が無かったため、設計をする上で重要になってくることなど様々なことについて理解することができた。

■実習を通じて感じたこと

インターンシップを通して様々な部署を見学させていただいたが、どの部署であっても一人でやっている仕事は少なく、他の人と協力し合いながら仕事が進められていた。そのため、学校で学ぶような専門的な知識のみでは仕事としては成り立たず、コミュニケーション能力が非常に重要になってくると感じた。

また、開発という仕事は答えが決まっているものではないため、とにかく現場に足を運んだり消費者ニーズを把握したりすることが重要であると感じた。さらに、どんなアイデアであっても否定するのではなく、まずは検討し、視野を広げることが重要であると感じた。

■後輩へのアドバイス

インターンシップは、インターネット等の情報だけでは知ることができないような現場のリアルについて体験できる非常に良い機会だと思います。少しでも、その企業に興味があるとするならばまずは参加をしてみて、実際に自分が将来やりたいと感じている仕事と合致しているのか確認した方が良いと思います。そうすることで、新たな発見や学びがあると思います。

■最後に

私は5日間のインターンシップに参加しましたが、期間に関わらず多くの企業に行ってみることは将来就職する上で非常に良い経験になると思います。

学校での勉強も大事ですが、様々な経験を積むことが人として成長していくうえで重要だと思います。

■具体的な実習内容

1日目：午前中は白十字株式会社の事業内容や、会社として行っている取り組みについての説明を受けた。午後は開発部に移動し、まずは開発部がどのような業務を行っているのや、開発とはどのようなことであるのかについて説明を受けた。次に、開発部第二課が開発・改良をしている大人用紙おむつについての説明を受けた。そして、おむつの使用方法について実際に装着してみることで学んだ。

2日目：午前中は大人用紙おむつのが、どのような資材から構成され、新商品の開発や、既存製品の改良はどのように行われているのかについて学んだ。午後は、実際に開発された試作品についてどのような試験を行うことで、機能を確認するのかについて学んだ。実際に行われている試験についても体験をした。

3日目：白十字株式会社群馬工場で生産されている紙お

むつや、衛生材料、マスクなどはどのように生産、検品が行われ、我々のもとに届くのかについて実際に工場に行くことで学んだ。

4日目：開発部第一課が行っている皮膚・排泄ケア、感染対策、オベ・ガーゼ関連製品などの衛生材料の開発について学んだ。そして、開発が行われる一連のプロセスについて学んだ。午後は、これまで学んだ知識を生かし、自分自身で新商品を考えるというワークを行った。

5日目：午前中は、4日目に行った自分自身の新商品を考えるというワークの続きを行い、パワーポイントの作成を行った。午後は、製品開発を行う中で関わってくる知的財産について学び、インターンシップ中にお世話になった方々に対して自分が考えた製品についてのプレゼンテーションを行った。その後、フィードバックを受け、様々なアドバイスを受けた。

■インターンシップへの参加目的

私は、公務員の方々がどのように市民と関わり地域に貢献しているかを学びたいと思い、インターンシップに参加を希望した。実際に働いて感じた仕事のやりがいや道路、橋りょうなど維持管理、新設においてどのように関わっているのか、公務員としての市民と向き合う姿をインストールに参加し見ることで今後の就職活動の会社選定の参考にしたい。

■実習先企業・機関選定理由

私は、公務員の技術職に興味があり今回、実際インターンに参加することで公務員の方々がどのように市民と関わり地域に貢献しているかを学びたいと思った。数多くある市町村の中から高崎市役所を選んだ理由としては、交通の利便性に優れ群馬一人口が多く、面積の大きい市であり多くのことを学べるのではないかと考えたからだ。

■得られた成果

公務員の方々がどのように市民と関わり地域に貢献しているかを学ぶことができた。市役所職員の仕事は、想像していたよりも住民との距離が近く仕事が市民の生活に直結しているということを知ることができた。市役所職員は、現場では監督員という立場で現場の指揮をとるという工事現場においても重要な役割を担っている。

■実習を通じて感じたこと

限りある予算であるため市民の要望に全て応えることができないことを知った。その厳しい状況下でも市民のために業者と何度も話し合いを行い最善の方法を協議し、監督員として工事を行っている姿に感銘を受けた。また、日頃からパトロールを行い道路の危険箇所を見つけたり災害時には、いち早く現場に行き交通整備を行ったりと市民の生活を支える重要な仕事を行っていると感じ、より市役所での仕事の魅力を感じた。

■後輩へのアドバイス

インターンに行く際は、ただ漠然と行くのではなく参加することでその会社の何を知りたいのか。また、インターンシップを通じて自分はどう成長したいのかを明確にしておくことが大切。明確にしておくことで充実したインターンシップの期間とすることができる。私が高崎市役所に5日間インターンシップに行きインターンシップ先までの通勤時間をもっと気にするべきだったと反省した。慣れてない早起きは、日中の集中力に影響を与えてしまうため特に一人暮らしの人は自力で通い続けられるか考える必要がある。

■最後に

インターンシップに行く前は、市役所職員の方々がどのような仕事をしているかわからなかった。また、県職員との仕事の違いも理解していなかった。県職員より市役所職員の方が市民に近く、実際に市民の要望を聞くことがある。また、工事の規模は思っていたよりも小規模である。私は、地域の課題を見つけ市民生活向上させることに貢献したいため市役所での仕事の魅力を感じた。

■具体的な実習内容

建設部の管理課、道路維持課、土木課でインターンシップ実習を行った。

1日目 管理課の事業概要説明 現場見学
2日目 土木課の事業概要説明（予算、用地買収、物件移転補償について）

3日目 現場見学

4日目 橋梁長寿命化について 若手社員との座談会

5日目 道路維持課の事業概要説明 施設点検の立ち合い

実習先

株式会社アイチコーポレーション

■インターンシップへの参加目的

学部3年になり、今後の進路（就職か進学か）を決め始める時期となる中で、自分が今までしてきた経験や学習内容をどのように社会で生かすことができるのかを体験するよい機会となると考え、参加することとした。将来的には製造業に就職したいという漠然としたイメージではなく、どのような部署で、どのような業務が自分にあっているのかも合わせて知りたいと思った。

■実習先企業・機関選定理由

工学部同窓記念会館で行われた合同企業説明会に立ち寄った際にこの企業のことを初めて知った。高所作業車のメーカーであることを知ったが、担当者や本校OBの方の話を聞き、研究開発や設計といった業務でも現場に出ての作業が多く、PCに向かうばかりではないという点に興味を持った。製造に関わる社員1人1人が車両の完成まですべてに携わるという業務の広さに大変惹かれた。インターンシップでは5日間かけて設計、製造、開発、研究、試験の一連の業務を体験できるとのことで、自分の適性や興味を考えながら参加できそうだと思い、参加を決意した。

■得られた成果

幅広い業務を体験する中で、商品開発、製造、先行開発、構造設計、試験の各部門がどのような立ち位置や役割を持つかが具体的に分かった。各課でそれぞれ3から5時間かけて説明と実習、社員との座談会が設けられており、部門の業務や性質の違いまで細かく理解することができた。特に社員と交流する機会が多く、社員も入社4～6年で経験も多いながら話しやすく、会社で実際に働いたときの自分を想像することができた。

■実習を通じて感じたこと

図面を描くことや各種試験の方法、構造計算はどれも授業で扱ったものばかりで、日々の学習が様々な場所で必要になってくることを実感した。多品種少量生産であるからこそその設計の多さや特殊さであったり、ユーザに合わせた設計を手掛けたりしており、設計の業務が思っていた以上の幅広さがあることに驚いた。設計はデスクワークでPCに向かうのみのイメージがあったが、最初の1台目の生産では設計全員が製造ラインの隣で追いかけて、不具合があったらすぐに検討を行い、図面を修正し、場合によっては自分で加工を行うこともあるという話に驚いた。高所作業車は人が乗ったり周りで作業したりするからこそ、絶対の安全性を追求する姿勢や責任をどの部署からも感じた。

新たな発見として、今まで興味がなかった試験業務が試行錯誤を重ねる時間が多く、自分に向いているかもしれないと感じた。

■後輩へのアドバイス

学部3年になると、進学か就職かの選択等、自分の進路を決めなければならない時期が目の前に迫ってくるのを感じる。いずれにせよ、一つ経験だと思ってインターンに参加することで今後の自分の進路を考える材料にもなるし、なにより自分が働くイメージをつかめるのがいい機会だと思う。高所作業車の製造も設計や開発だけでなく、試験とか、構造開発など思わぬところにやりがいを感じられたりするなと感じた。

■最後に

学部3年にもなると、ある程度学習も進んで専門的な内容も分かるようになってくるが、それが実際にどのように役立つか、自分がどのような業務に向いているかが実感として感じられた。自分は現時点で進学か就職かは決めていないが、実際の製造現場を見たことで今後の自分の学習姿勢や就職に向けた活動の方針が定まった。大変充実した5日間であった。

■具体的な実習内容

全日程は5日間であった。

初めに会社概要や製品の紹介があった。1日目の午後から2日目は商品開発部で3DCADを用いた3Dモデリングや図面の作成、簡単な構造の計算を行った。3DCADは2人の学生に1人の社員さんが付いての実習で、CADを使ったことのない自分でも実習を進めることができた。商品開発部の社員との座談会が各コマ1～2時間、計5時間程度あった。

3日目は新治工場にて製造ラインの見学を行い、生産技術部の社員との座談会が1時間程度あった。各種高所作業車の乗車体験が行われ、実際に試乗することができた。

4日目は構造開発部で倒れない構造の設計や計算の仕方の説明を受け、FTAと呼ばれる試作製品の悪さだしと解決法をワーク形式で行った。要素設計課で車に乗せる各種部品の試作やデータ取得、実験の業務を見学した。先行開発課では最新の開発中機種についてのソフトウェアとハードウェア担当間の議論の様子をそのまま見学した。

5日目は試験研究課で業務の説明を受け、製品の様々な試験の様子を見学した。実際に金属材料を分析する業務の体験も行った。3日目とは異なる高所作業車の乗車体験を行った。最後に各課のマネージャー（計10名ほど）との座談会を行った。

■インターンシップへの参加目的

電気系の開発、設計仕事に興味があり、どんな仕事をしているのか実際に体験してみたいと思ったからです。また、大学で学んでいることがどのくらい通用するのか、もっと勉強すべきことについても知りたいと思ったからです。

■実習先企業・機関選定理由

実習内容が開発の仕事を実際に体験できるところで、また、就職は群馬県内で考えていたので、県内にある企業で、自力で通えるところを探しました。就活サイトにある企業の一週間のインターンシップではエントリーシートや面接による選考があることが多く、応募しても参加できない可能性があったので、学校経由でインターンシップに応募できるところを探しました。

■得られた成果

私は開発の仕事に関してほぼ未知で、新しく何かを作りだすだけだと思っていましたが、図面を作成したり、ソフトを作ったり、設計したものを作ったり、それを評価したりする仕事など、たくさんの役割があることを知りました。本実習では評価の仕事を経験させていただきましたが、オシロスコープやその他初めて見る実験機器を使った実験では、学校の実験と違って丁寧に使い方を教えていただき、ひとりでじっくりと取り組むことができたので、使い方を覚えることができました。実習中に見せていただいた回路図は学校で見ているものとは違ってとても難しかったです。細かく解説していただいたので、どんな動作をするための回路か理解することができました。

■実習を通じて感じたこと

実習中に見せていただいた回路図は、全体的に見ると難しく感じてしまいましたが、細かく流れを追って見ていけば大学で習った知識で十分通用すると思いました。大学では、どうしても知識を増やすだけの勉強になってしまうのですが、実習を通してその知識をどう活かすかを考えるきっかけになりました。また、目的意識を持って勉強することが大切だと気づくことができました。

■後輩へのアドバイス

わからないことはどんなことであっても質問するのが良いと思います。作業をするときに私は焦ってしまうときがあるのですが、落ち着いてやるのが大切だと思いました。

■最後に

学部3年ということもあり、実用的な回路についての知識がほぼない状態で参加したインターンシップでしたが、ひとつひとつ丁寧に教えていただいたので、理解することができました。実験機器の扱いについても、初めて見るものがほとんどでしたが、ほぼつきっきりで教えていただいたので使い方をしっかり覚えることもできました。5日間指導してくださった社員の方にとっても感謝しています。また、直接実習に関わった社員の方以外にも、工場見学のときに教えていただいた方や、会社案内をしてくださった方など、たくさんの方が親切にしてくださりました。ありがとうございました。

■具体的な実習内容

ファンに用いられる回路中のダイオードを今よりも安価なものに交換するため、交換前後でのファンの特性を調べるという実験をしました。交換前後での電流をオシロスコープで観測したり、ファンのノイズを測定したり、ダイオードに電流が流れたときの温度の変化を調べたり、風量と静圧の関係を調べたりしました。また、ダイ

オードを交換するためはんだ付けもやらせていただきました。測定した結果はエクセルにまとめました。開発の仕事は図面を作成したり、ソフトを作ったり、設計したものを作ったり、それを評価したりする仕事に分かれますが、私はその中の評価の仕事の一部を体験させていただきました。

■インターンシップへの参加目的

国家公務員一般職の技術職を志望しており、インターンシップに参加することで自分の将来の目標をより明確にしたいと思い希望した。

■実習先企業・機関選定理由

私は過去に地図を失くして山で遭難した経験があり、その出来事から地図のありがたみを実感した。

そのため、日本のすべての地図の基準となっている国土地理院の興味があり、説明会などでお話を聞くうちに国土地理院で働きたいと思うようになった。そのため、より具体的に国土地理院の使命や業務を知りたいと思いインターンシップへの参加を希望した。また、私のような経験をする人が減ってほしいという思いから登山道を修正する部署でインターンシップを行わせていただいた。

■得られた成果

ビッグデータを用いて登山道修正エリアから修正する位置を抽出し、地図上の登山道の修正を行った。また、地図上に描かれていない登山道を抽出し、本やインターネットを用いて道の正確性や危険性を判断し、新規に地図上に載せるかどうか判断を行った。作成した登山道は課内で発表させていただき、審査を通ることができれば、電子国土基本図へと道が掲載される。

■実習を通じて感じたこと

山道は通常の道とは異なり、道間違えによる遭難などの危険がより高いため、正確な道を地図に記すこと、そもそも道が地図に記載されていることがとても重要なのだと知ることが出た。そして細かい作業の一つ一つが日本国土の基準となるという作業と実際に起こることへのギャップにとっても魅力を感じた。

■後輩へのアドバイス

インターンシップは実際に働いている人に仕事を教えて頂ける貴重な機会です。ためらう理由がめんどくささや気後れならば、勇気をもって一步踏み出し、体験を自分の糧にしてください。

■最後に

今まで地図を描いている、地震を観測しているなど国土地理院の業務を少ししか知りませんでした。今回インターンシップに参加したことで地図を描く中でも様々な業務があることを知り、国土地理院の業務は狭いようでとても多岐に渡っていることを痛感しました。そして、働く方々の人柄、温かさを感じより一層国土地理院への志望度が増しました。この度はお忙しい中、お時間を割いていただき本当にありがとうございました。

■具体的な実習内容

ビッグデータを用いて登山道修正のエリア・箇所候補を検討・整理を行った。その後インターネットや本を

用いて登山道の最新情報や正確性、危険性を調査し、地理院地図への追加・修正を検討した。

■インターンシップへの参加目的

参加目的は主に2つあります。1つ目は、IT企業について理解を深め、自分に合っているかどうかを確かめることです。私は機械科出身ですが、他の業界について知りたいと考えています。特に、上流工程について触れる機会は殆どありませんでした。そのため、インターンシップで上流工程に触れることで、SEの仕事というものについての理解を明確にしたいと思い、参加しました。2つ目は、グループワークの経験を得ることです。私は元々、あまり人と何かをすることが得意ではありませんでした。しかし、研究室に配属されてから、メンバーと協力して何かを行う機会が多くあり、考えが少し変わりました。それは、個々の能力には偏りがあるため、協力すればより良いものができるということです。そのため、インターンシップに参加することで、初めて会った人と協力することで、就職活動だけでなく、これからの人生に生かせる経験を得たいと考えました。

■実習先企業・機関選定理由

企業を選んだ理由は主に3つあります。1つ目は、SIerであることです。自分の興味関心や得意不得意を考えたとき、一番合っているのではないかと考えたのがSIerでした。そのため、まずはSIerの企業に絞って企業を選びました。2つ目は、上流工程の職業体験ができることです。私は今まで、システムの設計などの上流工程にはあまり触れてきませんでした。そのため、要件定義を体験できるハイマックスに興味を持ちました。最後に、決め手となった理由は、人を大切にすると感じたためです。フラットな社風と人材教育に力を入れているという点から、実際にどのような社員の方が働いているのか知りたいと思い、参加することを決めました。

■得られた成果

得られた成果は、SEについてと、自分についての理解です。まず、SEについては、今までのイメージとは違い、技術よりもコミュニケーション能力と分析力が大切であることが分かりました。SEにとってのお客様は、一般的にシステムについてあまり知識を持ちません。そのうえ、自分でも気づいていない要望が隠れている場合もあります。そのため、よいシステムを作るためには、お客様の要望をうまく引き出すことと、必要な要件を正確に把握することが重要になります。これは、今回職業体験をするまで分からなかったため、良い気付きになったと思います。また、自分についての理解というのは、主にグループワークでの立ち位置です。今までは、グループ内で積極的に動く方ではないと思っていたのですが、実際には自分の考えを積極的に発言することで、グループを引っ張ることも向いていると感じました。今まで思っていた自分とは異なる面を知ることができたことは、よい成果だったと感じています。

■実習を通じて感じたこと

今回のインターンシップで一番思ったことは、グループワークの難しさです。今回、五人のグループでワークを行いました。それぞれが全く違う環境を過ごしてきたため、異なる考えや価値観を持っていました。そのため、どうしてもすれ違いが起きてしまいました。しかし、皆で解決策を考えながらワークを行うことで、最終日には初日よりスムーズに議論を進めることができました。それでも全員が不十分であったと感じていたため、コミュニケーション能力の重要性を感じました。

■後輩へのアドバイス

折角参加するのであれば、積極的に活動するべきだと感じました。インターンシップでは、普段の生活では得られない貴重な経験が得られます。それは、職業体験であったり、初めて会った人との作業であったり、プログラムや人によって異なるとは思いますが、なにかしら成果を得ようと思って参加した方が、有意義なものになると思います。

■最後に

今回は5日間のプログラムでしたが、本当にあっという間でした。実は準備が間に合わず、発表が上手くいかなかったという残念なことがあったのですが、それもよい経験であったと思います。インターンシップを通して、SEはただシステムを作るだけではなく、お客様の期待以上の物を作り上げる人々であるのだと分かりました。目的であったSEについて知ることは達成できました。これから、自分に合うかどうかについて考えていきたいと思っています。

■具体的な実習内容

- ・ PDCAサイクルについての講義と、実感するためのワーク
- ・ VBAを用いたプログラミング体験
- ・ ロジカルシンキングについての講義
- ・ コンビニ経営をより良くするためのシステム作成 (ヒアリング・業務フロー作成・要件定義・フローチャート作成)
- ・ システムのプレゼン発表

■インターンシップへの参加目的

工場見学に参加させていただいた際、FDKに興味を持ちました。見学や質疑応答だけでは分からないような、働くことの良さや雰囲気などを、インターンシップに参加し、実際の業務に触れ、技術課の方々から話を聞くことで、FDKへの理解をより深めることを目的に参加しました。また、私は、レドックスフロー電池という二次電池の研究をしており、電池に関しての就職を考えていました。FDKもニッケル水素電池をはじめとする、電池に関しての生産及び研究開発を行っており、共通している点がありました。その中で、私が学校で勉強している知識や技術が実際の現場でどのように生かされているのか、また通用するかを試すことを目的に参加しました。

■実習先企業・機関選定理由

私が所属する研究室のOBの紹介があり、2.3月に会社説明と工場見学に行く機会がありました。そこでFDKに興味を持ち、見学だけでなく実際に業務に触れてみたいと考え選定しました。

■得られた成果

電池業界がどのようなものなのか、電池（Ni-MH電池）がどのように作られているかを詳しく知ることができました。また、FDKの雰囲気や働くとはどのようなものなのかを理解することができました。

製品化されている電池の充放電曲線を見せてもらったことで自身の研究のモチベーションにもつなげることができました。

■実習を通じて感じたこと

他企業の工場見学に参加させていただいたことがあるのですが、それより近くで製造ラインを見学することができ風通しの良い会社だと感じました。また、働いている社員の皆様とのやりとりを通じて、コミュニケーションがとりやすい雰囲気が作られていると感じました。

■後輩へのアドバイス

電気化学や電池の知識が無くても勉強になりますが、基礎的な部分を事前に学習しておくことで、体験している工程についてより理解が深まると思います。

具体的には、電池の構成、OCVとオーム抵抗、充放電曲線について理解しておくことをおすすめします。

■最後に

インターンシップ参加前に工場見学に参加させていただき、FDKについてある程度理解していましたが、インターンシップに参加することで、工場見学では見れなかった課の仕事を実際に体験することができ、FDKについてより理解を深めることができました。また、業務の体験を通して、働くということについての理解にもつながったと考えています。

企業や働くことについての理解に加え、製品化されている電池の性能を見ることで自身の研究のモチベーションにもつなげることができ、学びの多いインターンシップになったと考えています。

■具体的な実習内容

1日目は、FDKがどのような会社なのかの説明、開発課の業務体験（極板の選定）を行いました。2日目は、技術課にて電池の組み立て後、基礎データ収集等を行いました。3日目は、技術サポート課にて電池の特性評価

のための装置管理について体験しました。4日目は、応用技術開発課にて電池パックの作製体験をしました。5日目は、2日目に組み立てた電池のパッケージングを行い、最後に今回のインターンシップのまとめを行いました。

■インターンシップへの参加目的

インターネットの情報よりも、実際にインターンシップに参加して企業のことを学ぼうと思ったため、参加しようと思いました。また、細かい仕事のことなど、お伺いしたいことは実際に会って聞いた方が良かったため、参加しようと思いました。社風に触れることで、今後の就職活動に生かしたいと思っています。

■実習先企業・機関選定理由

水インフラの仕事は、多くの人を支える重要な仕事であり、普段安全で清潔な水を使用できているのはそれらの仕事のおかげです。日水コンは、水インフラの設計、建設において豊富な知識と高い技術力を持っており、実際の業務を通じて上下水道事業を学びたいと思いました。また、日水コンはAI技術でリアルタイム浸水ハザードマップシステムの開発や、機械学習で下水道管渠の劣化箇所予測も研究されています。これ以外にも様々な研究をされていますが、私は大学でAIの研究をしていたので、そういった情報技術を用いて進んで研究を行っていることに非常に興味をもちました。

■得られた成果

DXソリューション部の具体的な仕事内容について学ぶことができました。AIを使用して浸水のシミュレーションをしたり、紙の台帳をデジタル化したりしているなど、土木の知識はもちろん、情報の知識も必要であることがわかりました。また、仕事内容だけでなく、職場の雰囲気や上司と部下の関係なども知ることができました。下水道管路の異常箇所をAIを用いて自動検出する技術では、今までヒューマンエラーが起こっていた部分を機械によって補うことで、人による差をないようにしている（人による調査だと傷の大小具合によって結果が変わってしまう）技術を開発していることを学びました。

■実習を通じて感じたこと

参加前はデスクワークメインの仕事が多いと思っていましたが、インターンシップに参加してみると、営業や相談をするために多く出張に行っていることがわかりました。これはインターンシップに参加しないと得ることのできなかった情報なので、参加することができて良かったと思います。また、学部生時代に勉強した情報の知識が実際の仕事で生かされているのを見て、今勉強しているのは無駄ではないことがわかりました。

市と協力して共同制作しているシステムもあったので、これは他社にはない、秀でている点であることがわかりました。

■後輩へのアドバイス

1日2日のインターンシップよりも1週間のインターンシップに参加することで、より深く企業について学ぶことができるのでとても良い経験ができると思います。また、DXソリューション部は業務内容を座学形式でご教授していただきましたが、ほかの部署では座学だけでなく実際に体験したりすることもしたようです。自分が専攻していたものによって部署が変わり、経験する内容も変わると思います。

■最後に

ネットの情報で得た知識よりも、実際に見聞きした情報の方が価値が高いです。また、他のインターンシップ生との交流もあり、良い刺激となりました。私が行った部署では群馬大学のOBOGの方はいませんでした。他の部署では群馬大学卒の方がいるみたいなので、会う機会があるかもしれません。

■具体的な実習内容

1日目：午前はオリエンテーション、グループディスカッションで最後にグループごとに発表。午後は各部署で自己紹介、AI（画像判定、劣化予測）の紹介

2日目：AIリアルタイムシミュレーション、水道台帳紹介、雨Blitzの紹介

3日目：発表資料作成、兵庫ダム紹介、SAR衛星紹介

4日目：午前はインターン生同士のディスカッション、午後は水道台帳構築業務、ストマネ情報包括紹介、発表資料作成

5日目：午前は成果発表、午後は部長や課長、メンターの方とフィードバック

インターンシップご協力のお願ひ

本実施報告書は、学生が自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行なう「インターンシップ」について、特定の資格取得に関係するもの（教育実習、看護実習、臨床実習等）を除いて、取りまとめたものです。正課として（単位認定を行う授業科目において）実施したインターンシップ、及び、正課外だが（単位認定はしていないが）、大学が学生の参加に関与あるいは参加状況を把握しているインターンシップについて掲載しています。

多くの企業・法人・官公庁の皆様にご協力をいただきインターンシップを実施して参りました。2024年度も、新しい未来の創造と社会へ貢献できる人材育成を目指し、インターンシップを推進していきたいと考えています。つきましては、これまで受け入れをいただいております企業・法人・官公庁の皆様には引き続きご協力をお願い申し上げます。また、新たな企業・法人・官公庁の皆様からの受け入れのご協力も是非よろしくお願ひいたします。

インターンシップ取扱い概要

【共同教育学部・情報学部・社会情報学部・医学部保健学科、及び大学院教育学研究科・社会情報学研究科・医学系研究科生命医科学専攻・保健学研究科】

1. 正課外として、自主参加で実施
2. 対象者：学部3年生及び大学院1年生を主とする希望者
3. 参加時期：原則として8月～9月又は2月～3月の休業期間
4. 参加期間：1週間（実日数5日）程度の就業体験を行うものを推奨
5. 情報学部、社会情報学部生は、一定の要件を満たすことにより、キャリア教育科目（選択科目）「社会に学ぶ」の単位認定

【理工学部、及び大学院理工学府】

1. 正課として、理工学部共通科目（選択科目）「インターンシップⅡ」、理工学府技術マネジメント系科目（選択科目）「インターンシップ」で実施
2. 対象者：学部3年生及び大学院1年生を主とする希望者
3. 参加時期：原則として8月～9月又は2月～3月の休業期間
4. 参加期間：1週間（実日数5日）以上であるものを正課のインターンシップとして取り扱う
5. 単位付与要件：2週間（実日数10日）以上

ただし、4日以内のインターンシップ（自主参加）についても大学への届出を行って参加するよう指導

【その他 全学部生・大学院生・留学生向け】

1. 正課として実施

（学部生向け）

教養教育科目（選択科目）「グローバル・インターンシップ・プログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」（日本人学生向け）で実施または教養教育科目（選択科目）（日本語・日本事情E・F・G・H）「グローバル・インターンシップ・プログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」（外国人留学生向け）で実施

（大学院生向け）

先端応用情報学特講H・L「院生のためのグローバル・インターンシップ・プログラムⅠ・Ⅱ」で実施（解放科目、外国人留学生・日本人学生向け）

2. 「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクト（文部科学省認定「留学生就職促進教育プログラム」）の一部を構成
3. 参加期間：2週間（実日数10日間、80時間以上）を2回

▶実習生はすべて、学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険、又はこれに準じる保険に加入します。

夏期インターンシップ取扱い手順

3月末頃まで

学生に提示する企業情報（企業票）を確認・修正していただきます。
新規の場合は企業情報（企業票）を作成していただきます。
実習内容は、受け入れ先ご担当者様の指導・提案のもとお願いしております。

5月～7月

貴社・貴機関での実習を希望する学生のインターンシップ実習生自己紹介書をお送りしますので受け入れの可否についてご検討・ご回答をいただきます。
なお、事前にご承諾をいただいた後に正式依頼するようにしています。
(理工学部・理工学府からは、事前にインターンシップ実習生エントリーシートをお送りします。)

7月～8月

実習受け入れが決定したら、貴社・貴機関と群馬大学の間で、必要に応じてインターンシップ実施に関する確認書を取り交わさせていただきます。実習生の守秘義務等に関する誓約書も提出します。必要に応じて、インターンシップ前に学生に訪問させていただきたく、そのための日程調整を実習生から連絡させていただくことがあります。

8月～9月

インターンシップ実施期間中、実習生は実習日誌（大学様式）を持参し記入します。貴社・貴機関が指定する日誌がある場合は、そちらを用いて作成するようご指導ください。
また、インターンシップ終了後には、「インターンシップ実施結果アンケート」及び「指導担当者による実習評価表」の記入にご協力をお願いいたします。

※グローバル・インターンシップは、実習内容や実習時期の関係から、別途の取扱いになります。

【インターンシップに関する問合せ先】

共同教育学部・情報学部・医学部（それぞれ大学院を含む）

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

キャリアサポート室

TEL 027-220-7124

E-mail career@ml.gunma-u.ac.jp

理工学部（大学院を含む）

〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1

学生支援係

TEL 0277-30-1062、1034 FAX 0277-30-1041

インターンシップ担当

E-mail t-internship@ml.gunma-u.ac.jp



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY